

令和7年版 綾瀬市消防年報



消防団資機材搬送車 配車式
～令和8年8月18日 消防本部訓練場にて～

《大規模災害等における消防団の機動力の向上を目的として、
全6分団へ四輪駆動方式の軽トラック型資機材搬送車を配備しました。》

綾瀬市消防本部 《神奈川県》

は じ め に

この消防年報は、令和7年中における綾瀬市の消防諸般の事項を収録して現勢を明らかにし、消防の実態を紹介するものです。

○本書は、特に記載してあるもののほかは、令和8年4月1日現在のものとししました。

○この年報を作成するための資料は、消防本部の各担当及び市役所関係各課の資料提供によるものです。

目 次

・ 防火・防災宣言	1
・ 綾瀬市章・綾瀬市民憲章・市の木・市の花・市の鳥	2

綾瀬市の概要

・ 消防一日統計（消防本部・消防団）	3
・ 位置及び地勢	4
・ 人口の推移	5
・ 予算関係	6
・ 消防施設位置図	7
・ 消防施設一覧	8
・ 消防水利調	9
・ 主な協定等一覧	10

消防概要（消防本部）

・ 常備消防（消防本部）組織図	12
・ 現有車両調	13
・ 主な装備一覧	15
・ 消防本部事務分掌	16
・ 消防署事務分掌	17
・ 所属別職員配置状況	18
・ 消防職員 年令別/勤続年数/階級内訳	19
・ 消防職員研修調	20
・ 免許等取得状況・予防技術資格者・予防技術検定合格者	21
・ 全国消防救助技術大会出場歴	22
・ 災害派遣一覧	23
・ 歴代消防長・叙勲消防功績受章者・消防庁長官表彰受章者	24

消防概要（消防団）

・ 非常備消防（消防団）組織図	26
・ 消防団命令系統図・消防団員年報酬額・消防団員出動報酬額・消防団現況調	27
・ 消防団車両機械一覧表	28
・ 被服及び主な資器材一覧	29
・ 消防団員年令調/年代別消防団員数/消防団員の職業	30
・ 消防団員勤続年数調	31
・ 消防団員研修調	32
・ 叙勲消防功績受章者・消防庁長官表彰受章者・消防団受章歴	33
・ 全国消防操法大会出場歴・神奈川県消防操法大会最優秀賞受賞歴	34
・ 神奈川県消防操法大会 出動分団及び結果	35
・ 綾瀬市消防操法大会 出動分団及び結果	36
・ 歴代消防団長	38
・ 消防団協力事業所認定事業所一覧	40

災害統計（火災関係）

・ 令和 7 年火災一覧表	41
・ 令和 7 年火災種別別発生状況調・令和 7 年と過去10年間の火災状況比較	43
・ 令和 7 年月別火災発生状況調・令和 7 年月別火災件数	44
・ 令和 7 年原因別火災発生状況調・令和 7 年火災原因	45
・ 令和 7 年時間別火災件数・令和 7 年地区別火災件数	46

災害統計（救急関係）

・ 令和 7 年救急統計	47
・ 令和 7 年と過去10年間の救急出動事故種別集計・ドクターヘリ要請件数	48
・ 令和 7 年救急出動月別集計・令和 7 年救急出動曜日別集計	49
・ 令和 7 年救急出動時間別集計・令和 7 年救急出動事故種別集計	50
・ 令和 7 年救急出動地域別集計・令和 7 年救急発生場所別集計・令和 7 年救急出動天候別集計	51
・ 救急救命士・救急救命士が行った救急救命処置件数	52
・ 東名高速道路災害件数・三市救急業務相互応援協定に基づく応援応受状況	53
・ 現場到着・病院到着平均時分（全国比較）	54
・ 過去 5 年間の熱中症発生件数・過去 5 年間の搬送先医療機関所在地市町村別件数	55

普及啓発

・ 救命講習会実績	56
・ A E D設置市内公共施設一覧	57
・ A E D設置市内民間施設一覧	60

火災予防

・ 防火対象物現況	62
・ 火災予防査察実施状況	63
・ 火災予防条例に基づく届出状況調・消防用設備等届出状況調	64
・ 防火管理者選任状況	65
・ 用途別消防同意件数	66
・ 危険物施設状況調・危険物関係諸届状況調	67
・ 火災予防査察実施状況（危険物施設）	68
・ 幼年消防クラブ・女性防火クラブ・少年消防クラブ結成状況	69
・ 防火協力団体	70

消防のあゆみ

・ 消防のあゆみ	71
----------	----

防火・防災宣言

綾瀬市は、平成6年4月13日に制定した「市民防火の日」を火災予防の普及、啓発と併せて、大地震や集中豪雨などの災害に対する防災意識の向上を図るため、毎月13日を「市民防火・防災の日」として、新たに制定いたします。

私たちは「災害のない安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指して、次のことを宣言いたします。

- 1 家庭、学校、地域、職場に防火、防災意識の普及、啓発を図ります。
- 1 子どもや高齢者などを火災や災害から守ります。
- 1 消火器の設置や食糧、飲料水などの備蓄及び点検を行います。
- 1 火の元の点検や災害時の避難場所、家族との連絡方法の確認を行います。

平成21年1月11日

綾 瀬 市 長

綾瀬市章（昭和27年1月1日制定）



綾瀬市民憲章

（昭和53年11月1日制定）

私たちは、相模野の恵まれた緑をたいせつにし、自然と文化の調和した都市「綾瀬」の発展をねがいここに市民憲章を定めます。

- 1 みんなで助け合い、明るい“まち”にしましょう。
- 1 教育をすすめ、文化の高い“まち”にしましょう。
- 1 産業を延ばし、豊かな“まち”にしましょう。
- 1 環境をととのえ、きれいな“まち”にしましょう。
- 1 きまりを守り、住みよい“まち”にしましょう。



市の木「やまもみじ」

（昭和49年12月1日制定）



市の花「ばら」

（昭和49年12月1日制定）



市の鳥「カワセミ」

（平成14年7月7日制定）

綾瀬市の概要

消防一目統計

(令和8年4月1日現在)

◎綾瀬市消防本部

市勢 人口 世帯数 予算	面積	人口	世帯数	消防費予算
		 ※推計人口		
	22.14km ²	82,593人	36,380世帯	1,575,593千円

組織	消防本部設置	施設	消防職員数	消防部隊数
	 昭和47年4月	1本部 1署 2分署	 条例定数 143人 実員数 136人 うち女性職員 7人(4.8%) ※再任用職員を除く	指揮隊 1隊 消防隊 4隊 救助隊 1隊 救急隊 3隊

無線	アナログ無線	デジタル無線		I P無線		主運用波		指令センター
		基地局	移動局	卓上型	携帯型	基地局	移動局	大和市・海老名市・座間市と共同運用 (令和8年3月10日一部運用開始) (令和8年4月24日正式運用開始)
	移動局39局 (うちIP無線搭載12台)	1局	35局	1台	12台 (うちアナログ無線搭載12台)	指令センター	35局	

※I P無線は県央東部消防指令センター更新に伴い、令和8年7月9日から運用開始

災害 件数 (令和7年)	火災	救助	救急
			
	29件	84件	5,272件

令和7年中の救急出動件数は、過去最多の件数となりました。



予防	防火対象物	危険物施設	消防同意数 (令和7年度)	防火協力団体
		 貯蔵所 148施設 取扱所 53施設		幼年消防クラブ 女性防火クラブ 少年消防クラブ 綾瀬防火協会
	2,591施設	計 201施設	324件	4団体

◎綾瀬市消防団

消防団	消防団設置	消防団員数	消防ポンプ自動車	資機材搬送車	小型動力ポンプ	無線関係
	 昭和22年7月	 6分団 定数165人 実員136人 (うち、女性団員3名)	 6台	 6台	 6台	・車載受令機 6台 ・特定小電力トランシーバー 39台 (内訳) 団本部×3台 各分団×6台 ・IP無線機 8台

※資機材搬送車は、令和8年8月18日から運用開始

位置及び地勢

本市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、東部は大和市、北西部は海老名市、南部は藤沢市に接している。

区域は、東西4.2km、南北7.6kmと南北に長く行政面積22.14km²を有している。

地勢は、緩やかに傾斜する丘陵地帯にあり、標高約15～80mである。

また、横浜へ約20km、東京中心地域へ約40kmという地理的条件にある。

方位	経度	緯度	方位	経度	緯度
東端	東経 139° 27' 27"	北緯 35° 24' 42"	南端	東経 139° 26' 42"	北緯 35° 24' 26"
西端	東経 139° 24' 09"	北緯 35° 26' 53"	北端	東経 139° 27' 03"	北緯 35° 28' 04"

面積	周囲	東西	南北
22.14 km ²	25km	4.2km	7.6km

綾瀬市位置図



人口の推移

(各年4月1日現在 推計人口)

区 分	面積km ²	世帯数	人 口	1km ² あたり世帯数	1km ² あたり人口	備 考
大正5年	22. 24	905	5, 832	41	262	
昭和10年	〃	973	5, 758	44	259	
昭和20年	〃	1, 521	10, 370	68	466	
昭和30年	〃	1, 417	8, 213	64	369	
昭和40年	〃	2, 469	11, 462	111	515	
昭和45年	〃	5, 882	22, 000	264	989	
昭和50年	〃	13, 389	48, 095	602	2, 163	
昭和55年	〃	18, 656	68, 217	839	2, 842	
昭和60年	〃	21, 439	70, 197	964	3, 156	
昭和63年	〃	22, 352	75, 138	1, 005	3, 379	
平成元年	〃	22, 956	76, 237	1, 032	3, 428	
平成 5 年	〃	25, 500	79, 871	1, 147	3, 591	
平成 6 年	〃 22. 28	26, 040	80, 432	1, 171	3, 617	※ 1
平成10年	〃	27, 561	80, 812	1, 237	3, 627	
平成15年	〃	29, 625	81, 713	1, 329	3, 667	
平成20年	〃	30, 957	81, 966	1, 389	3, 679	
平成25年	〃	32, 556	83, 681	1, 461	3, 756	
平成26年	〃 22. 14	32, 901	83, 893	1, 477	3, 765	※ 2
平成30年	〃	34, 195	84, 039	1, 544	3, 796	
平成31年	〃	34, 779	84, 411	1, 571	3, 813	
令和 2 年	〃	35, 281	84, 396	1, 594	3, 812	
令和 3 年	〃	35, 330	83, 806	1, 596	3, 785	
令和 4 年	〃	35, 010	83, 210	1, 581	3, 758	
令和 5 年	〃	35, 435	83, 100	1, 600	3, 753	
令和 6 年	〃	35, 734	82, 767	1, 614	3, 738	
令和 7 年	〃	36, 380	82, 787	1, 643	3, 739	
令和 8 年	〃	36, 689	82, 593	1, 657	3, 730	

※ 1 平成6年9月1日に国土地理院面積改定

※ 2 平成26年10月1日に市の面積が改定（国土地理院の計測方法の更新による）

予算関係

消防予算

(令和8年度当初予算額)

款	項	目	金額 (千円)	比率 (%)
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	1,344,198	85.3%
		非 常 備 消 防 費	41,925	2.7%
		消 防 施 設 費	189,470	12.0%
		合 計	1,575,593	100%

一般会計予算と消防予算との比較

(単位：千円)

区分年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市総予算額	30,410,000	31,730,000	32,340,000	36,810,000	36,730,000
消防予算額	1,323,186	1,641,664	1,483,228	1,910,139	1,575,593
比 率 (%)	4.4%	5.2%	4.6%	5.2%	4.3%

消防費と人口との比較

(令和8年4月1日現在人口統計)

項 目	予算額(千円)	1世帯あたり (円)	人口1人あたり (円)
市 総 予 算 額	36,730,000	1,001,117.5	444,710.8
消 防 予 算 額	1,575,593	42,944.6	19,076.6
常 備 消 費	1,344,198	36,637.6	16,275.0
非 常 備 消 防 費	41,925	1,142.7	507.6
消 防 施 設 費	189,470	5,164.2	2,294.0

消防施設位置図

綾瀬市内には、常備消防施設が3カ所、非常備消防施設が6カ所あります。

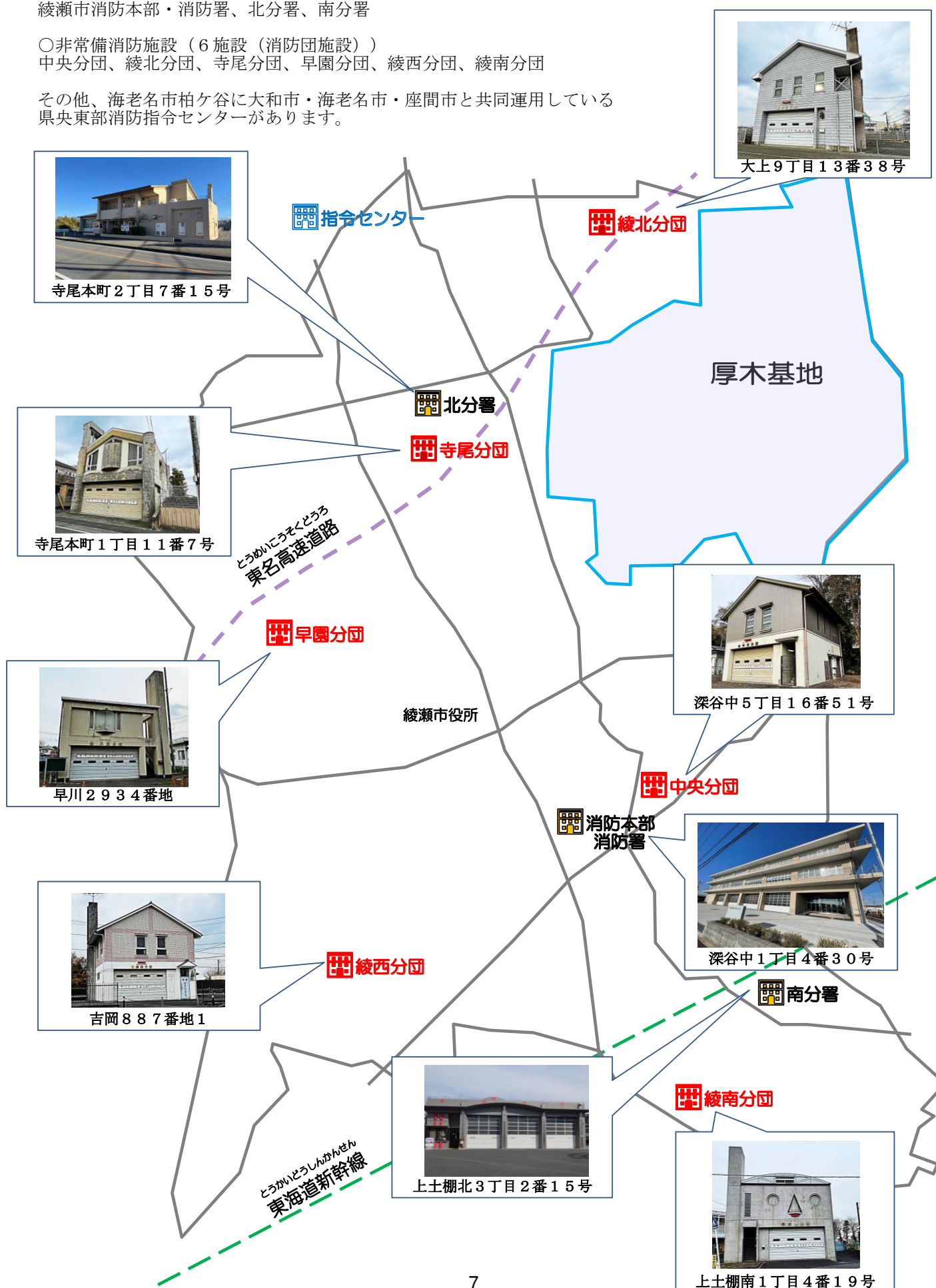
○常備消防施設（3施設）

綾瀬市消防本部・消防署、北分署、南分署

○非常備消防施設（6施設（消防団施設））

中央分団、綾北分団、寺尾分団、早園分団、綾西分団、綾南分団

その他、海老名市柏ケ谷に大和市・海老名市・座間市と共同運用している
県央東部消防指令センターがあります。



消防施設一覧

○常備消防施設

施設名	所在地	建築年月	構 造	土地面積	建築面積	延床面積
消防本部・消防署	深谷中1丁目4番30号	令和2年3月	R C造3階	3,472.67㎡	1,302.14㎡	3,595.58㎡
訓練塔A		令和2年3月	R C造2階		54.00㎡	105.60㎡
訓練塔B		令和2年3月	R C造2階		66.60㎡	133.20㎡
北分署	寺尾本町2丁目7番15号	平成2年10月	R C造2階	1,722.32㎡	549.07㎡	681.17㎡
南分署	上土棚北3丁目2番15号	平成8年7月	R C造2階	2,439.76㎡	634.10㎡	813.46㎡

○非常備消防施設（消防団施設）

施設名	所在地	建築年月	構 造	土地面積	建築面積	延床面積
中央分団	深谷中5丁目16番51号	平成4年3月	R C造2階建	374.91㎡	65.60㎡	131.20㎡
綾北分団	大上9丁目13番38号	平成5年3月	R C造2階建	205.50㎡	65.60㎡	131.20㎡
寺尾分団	寺尾本町1丁目11番7号	平成元年2月	R C造2階建	180.02㎡	55.50㎡	109.92㎡
早園分団	早川2934番地	平成2年3月	R C造2階建	302.54㎡	65.60㎡	119.68㎡
綾西分団	吉岡887番地1	平成7年3月	R C造2階建	582.89㎡	65.60㎡	131.20㎡
綾南分団	上土棚南1丁目4番19号	平成3年3月	R C造2階建	279.54㎡	65.60㎡	131.20㎡

○その他（通信指令施設）

施設名	所在地	建築年月	構 造	土地面積	建築面積	延床面積
県央東部 消防指令センター	海老名市 柏ヶ谷2丁目7番1号	平成25年12月	R C造3階建	562.27㎡	285.97㎡	732.53㎡

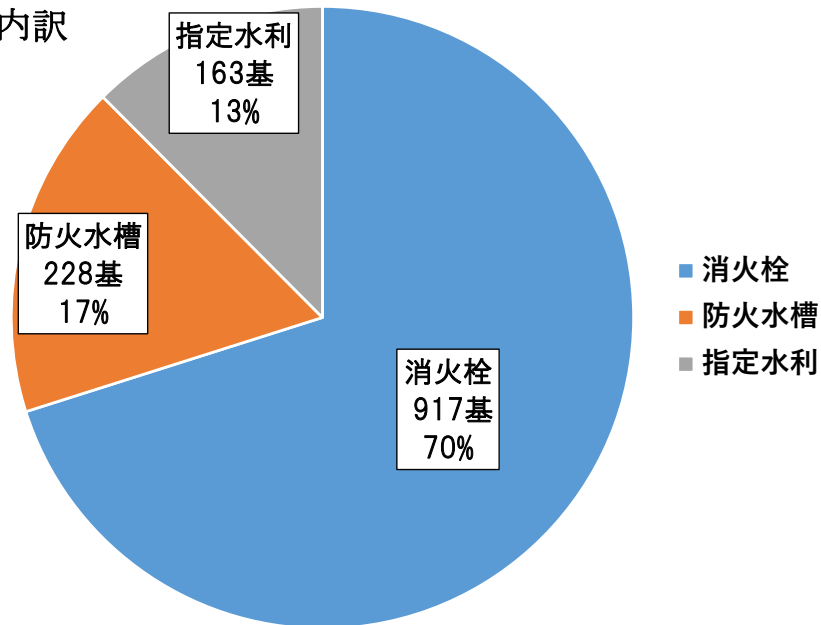
消防水利調

令和8年4月1日 現在

市内には、火災を鎮圧・消火するための目的で設置された、消火栓や防火水槽などがあり、これらを消防水利と言います。また、プールの水も火災が発生したときには消防水利となります。

消火栓	防火水槽	指定水利	自然水利
道路下等に埋められた水道管の途中に設けられているもので、消防車両が消火に必要な水を吸引するために設置しています。	消火用の水が常時溜まっている水槽で、地震時等、消火栓が使用できない場合に効力を発揮します。学校や公園、マンション、事業所などに設置しています。	消防法に基づき、消防長が消防活動に使用できると認めた水利で、所有者や管理者の承諾を得て指定されたものを指します。具体的には、消火栓や防火水槽、池、河川など、消防活動に必要な水を確保できる場所が指定されます。	河川、海、湖池等、自然に存在する水資源です。消火活動の際、現場の近くに消火栓等がない場合、もしくは水量が十分でない場合は必要に応じてこれらの自然水利を使用することがあります。

消防水利内訳



合計	消防水利	内訳	消火栓	防火水槽		指定水利					
	1,308		917	228		163					
				40㎡未満	40㎡以上	消火栓	防火水槽		プール	その他	
							40㎡未満	40㎡以上		40㎡未満	40㎡以上
			9	219	2	7	121	16	7	10	

※飲料水兼耐震性貯水槽(100m³)×7基を含む

主な協定等一覧

No.	協定名	締結年月日	協定先
1	神奈川県下消防相互応援協定	昭和50年7月25日	神奈川県各市町長
	概要		
	相互間の消防力を活用することで、災害による被害を最小限に抑えるため、応援や受援についてのルールを定めたもの。		
2	東名高速道路消防相互応援協定書	昭和56年4月25日	川崎市長、横浜市長、大和市長、海老名市長、茅ヶ崎市長、厚木市長、伊勢原市長、秦野市長、小田原市長
	概要		
	東名高速道路内で発生した火災や救急等の事案に対し、インターチェンジを所管している市が、出動区域等を定めたもの。		
3	日米消防相互応援協定	平成3年4月8日	米海軍司令官
	概要		
	火災やその他の緊急事案に対し、相互に応援する事項を定めたもの。		
4	東京都島しょ地域における救急患者搬送に関する協定	平成12年4月18日	東京都知事
	概要		
	東京都が所管する離島で発生した救急患者に対し、厚木基地に搬送された場合の必要な事項を定めたもの。		
5	ドクターヘリコプター場外離発着陸場使用に関する協定書	平成22年4月1日	サントリービバレッジプロダクツ株式会社
	概要		
	重傷傷病者等の救命を図るために要請するドクターヘリコプター場外離発着陸場の使用に関する協定		
6	東名高速道路消防相互応援協定の特例等に関する覚書	令和3年2月15日	横浜市長、海老名市長、厚木市長
	概要		
	東名高速道路における綾瀬スマートインターチェンジ設置により、火災や救急業務などを円滑に行うために出動区域等を定めたもの。 《出場区分》 (1) 綾瀬S I Cから厚木 I Cまでの区間の下り線 (2) 綾瀬S I Cから横浜町田 I Cまでの区間の上り線		
7	ドクターヘリコプター場外離発着陸場使用に関する協定書	令和6年3月15日	三井不動産株式会社 三井住友信託銀行株式会社
	概要		
	重傷傷病者等の救命を図るために要請するドクターヘリコプター場外離発着陸場の使用に関する協定		
8	大和市・海老名市・座間市及び綾瀬市救急業務相互応援協定書	令和8年3月10日	大和市長、海老名市長、座間市長
	概要		
	管轄内の救急車が不在になった際、四市の市域を越えて、近くの救急車を出動させるための協定		

ドクターヘリ離着陸場一覧

	離着陸場 番号	施 設 名 称	所 在 地
1	T－151 綾瀬3	落合小学校	落合北 3-10-1
2	T－142 綾瀬4	天台小学校	寺尾台 1-3-1
3	T－233 綾瀬5	サントリー綾瀬工場	深谷上 8-27-1
4	T－153 綾瀬6	MFLP東名綾瀬	小園 720-1

消防概要

(消防本部)

常備消防（消防本部）組織図

綾瀬市の消防本部は、発足以来、消防力の強化拡充に努め、現在では、1本部、1署、2分署となっています。

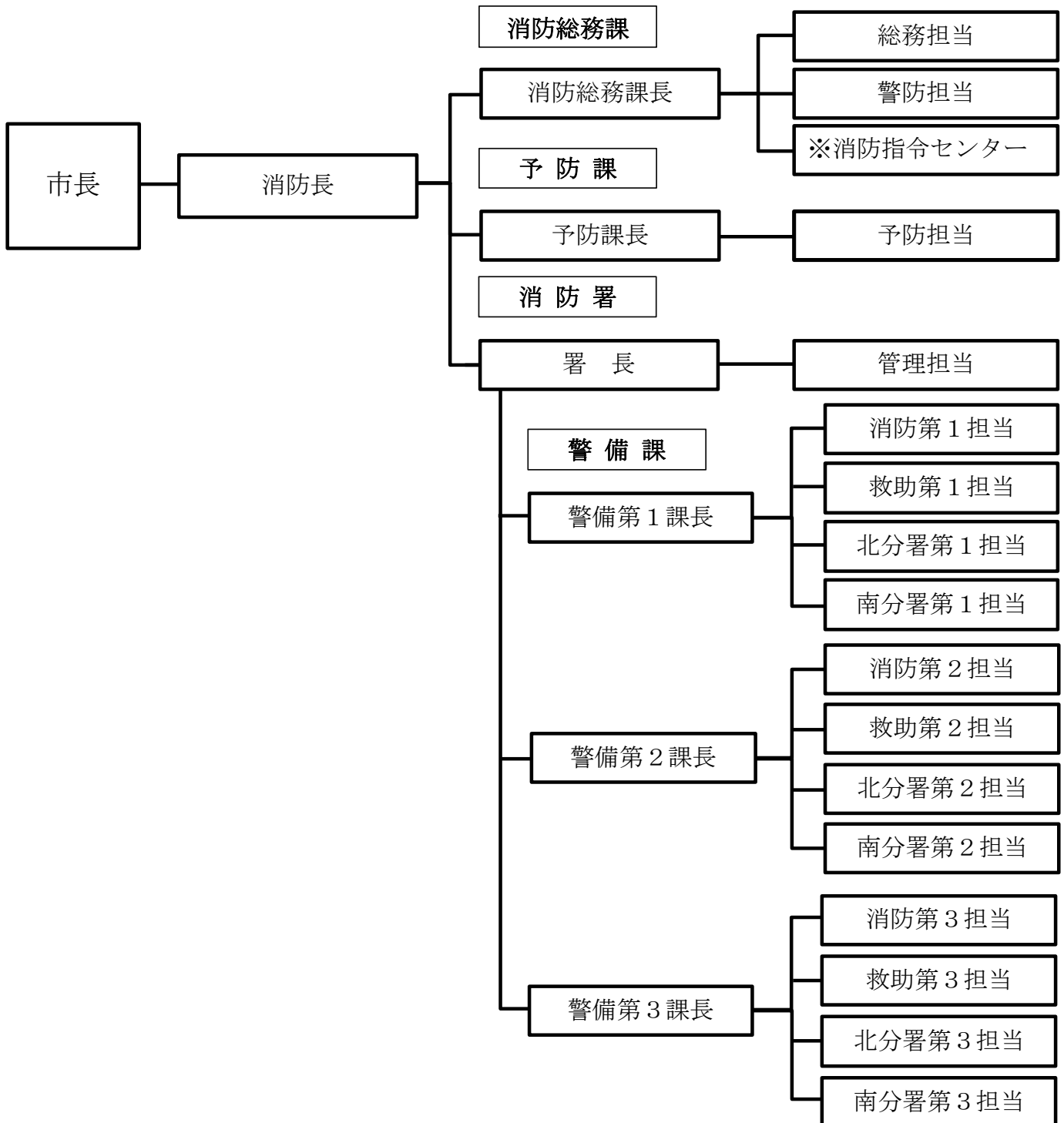
本部には、消防総務課及び予防課があり、署には警備課（1課～3課）及び管理担当があります。

施設は、本部（署）庁舎、北分署庁舎及び南分署庁舎があります。

その他、大和市、海老名市、座間市及び綾瀬市で共同運用している消防指令センターがあります。

綾瀬市消防本部では、市民の皆様が安心して暮らせる街づくりの構築に向け、職員が一丸となって、消防・救急体制の強化に取り組んでいます。

市民の皆様や企業の方々と力を合わせながら、誰からも信頼され、かつ親しみのある組織づくりに全力を尽くしてまいります。



※県央東部消防指令センターへ職員を派遣

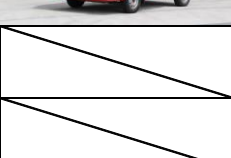
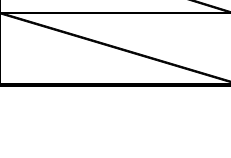
現有車両調

令和8年4月1日現在

No	車両名（無線）	車両会社名 ポンプ会社等	ポンプ性能 型式	登録年月日	免許区分
1	 指令車 （綾瀬指令 1）	日産	-	平成29年9月29日	普通
2	 広報車 （綾瀬広報 2）	いすゞ トーハツ	B-2 多機能型	平成22年12月24日	準中型 5 t
3	 広報車 （綾瀬広報 3）	日産	-	平成22年2月26日	普通
4	 資機材搬送車 （綾瀬作業 1）	日野	-	令和4年2月14日	準中型
5	 資機材搬送車 （綾瀬作業 2）	日野	-	平成18年1月30日	準中型
6	 指揮車 （綾瀬指揮 1）	日産	-	令和1年6月24日	普通
7	 水槽付消防ポンプ 自動車 （綾瀬タンク 1）	日野 モリタ	A-2 水 I-A 型	平成24年2月28日	中型
8	 消防ポンプ自動車 （綾瀬ポンプ 1）	日野 モリタ	A-2 CD-I 型	令和5年3月14日	準中型
9	 消防ポンプ自動車 （綾瀬予備 1）	日野 モリタ	A-2 CD-I 型	平成18年2月7日	準中型
10	 化学消防ポンプ 自動車 （綾瀬化学 1）	日野 日本ドライケミカル	A-2 II 型	平成30年2月22日	大型
11	 救助工作車 （綾瀬救助 1）	日野 モリタ	II 型	令和7年2月25日	大型

現有車両調

令和8年4月1日現在

No	車両名（無線）	車両会社名 ポンプ会社等	ポンプ性能 型式	登録年月日	免許区分
12	 はしご付消防自動車 （綾瀬はしご1）	日野 モリタ	3.5m級 先端屈折式	令和6年2月13日	大型
13	 高規格救急自動車 （救急綾瀬1）	トヨタ	-	平成31年2月21日	普通
14	 高規格救急自動車 （救急綾瀬2）	日産	-	平成27年2月16日	普通
15	 消防ポンプ自動車 （綾瀬北ポンプ1）	日野 モリタ	A-2 CD-I型	令和3年2月9日	中型8t
16	 資機材搬送車 （綾瀬北作業1）	いすゞ	-	令和5年2月21日	準中型
17	 高規格救急自動車 （救急綾瀬北1）	日産	-	令和2年2月18日	普通
18	 消防ポンプ自動車 （綾瀬南ポンプ1）	日野 日本機械工業	A-2 CD-I型	平成23年2月22日	準中型
19	 資機材搬送車 （綾瀬南作業1）	三菱	-	平成21年2月27日	準中型
20	 高規格救急自動車 （救急綾瀬南1）	日産	-	令和4年2月10日	普通
21	 小型動力ポンプ 積載車	スバル ラビット	B-2	平成18年12月26日	普通
22	 事務連絡車	日産	-	平成17年6月30日	普通
23	 事務連絡用バイク	ホンダ	-	平成23年8月18日	原付
24	 事務連絡用バイク	スズキ	-	平成24年3月6日	原付

消防本部・消防署 主な装備一覧

制服



夏制服



活動服



救助服



救急服



—現場活動するときの装備—

防火服



耐熱服



陽圧式化学防護服



感染防止着



火災などの災害活動時に着用します。活動する隊によってヘルメットの色がちがいます。

高温から隊員の体を守ってくれます。

有毒物質から隊員の体を守ってくれます。

ウイルスなどからの感染を防ぐ目的で着用します。

消防本部事務分掌

【消防総務課】

- (1) 消防の企画、調査、調整及び庶務に關すること。
- (2) 職員の任免、給与、服務その他の人事に關すること。
- (3) 職員の研修、福利厚生及び衛生管理に關すること。
- (4) 公印の管理に關すること。
- (5) 文書の收受に關すること。
- (6) 公務災害補償に關すること。
- (7) 褒賞及び表彰に關すること。
- (8) 規則、規定等の制定及び改廢に關すること。
- (9) 予算の編成及び執行管理に關すること。
- (10) 消防施設及び物品の整備、維持及び管理に關すること。
- (11) 職員の被服に關すること。
- (12) 消防の総括統計に關すること。
- (13) 火災の警戒防ぎょ計画に關すること。
- (14) 警防の統計に關すること。
- (15) 消防相互応援に關すること。
- (16) 消防水利の整備、維持管理に關すること。
- (17) 消防訓練の計画実施に關すること。
- (18) 消防機械器具の整備、維持及び管理に關すること。
- (19) 消防力の基準に關すること。
- (20) 開發行為に關すること。
- (21) 火災警報等の発令等に關すること。
- (22) 消防計画に關すること。
- (23) 団員の訓練に關すること。
- (24) 団員の任免、給与、服務その他の人事に關すること。
- (25) 団員の研修、福利厚生及び衛生管理に關すること。
- (26) 団員の被服に關すること。

【予防課】

- (1) 火災予防の企画及び維持に關すること。
- (2) 火災予防等に係る広報及び広聴に關すること。
- (3) 住宅防火対策推進に關すること。
- (4) 防火・防災管理に關すること。
- (5) 防火協力団体に關すること。
- (6) 火災予防査察の計画及び執行に關すること。
- (7) 火災予防等に係る違反是正に關すること。
- (8) 建築物等に係る許可、認可又は確認についての同意に關すること。
- (9) 消防用設備等の設置に係る指導、検査等に關すること。
- (10) 法令等に基づく届出等の受理及び指導に關すること。
- (11) 防火対象物に係る表示制度に關すること。
- (12) 危険物に關する許可、認可、承認等に關すること。
- (13) 法令等によって求められる意見書に關すること。
- (14) 火災の統計に關すること。
- (15) 火災の原因調査及び損害調査に係る統括指導に關すること。
- (16) 火災等のり災証明書に關すること。

消防署事務分掌

- (1) 火災、救急その他の災害情報に関すること。
- (2) 救急の統計に関すること。
- (3) 消防救急資器材及び車両の点検及び運用に関すること。
- (4) 綾瀬市火災予防条例（昭和 37 年綾瀬町条例第 9 号）第 45 条の規定による届出に関すること。
- (5) 救急救命士業務に関すること。
- (6) 各種消防救急訓練指導に関すること。
- (7) 防災主管課の取扱時間以外、同課が実施できない場合及び緊急時の防災行政用無線の放送に関すること。
- (8) 水火災等の警戒防ぎょ活動に関すること。
- (9) 救急及び救助活動に関すること。
- (10) 火災予防査察に関すること。
- (11) 消防地水利の調査に関すること。
- (12) 警防調査に関すること。
- (13) 火災の原因調査及び損害調査に関すること。

所属別職員配置状況

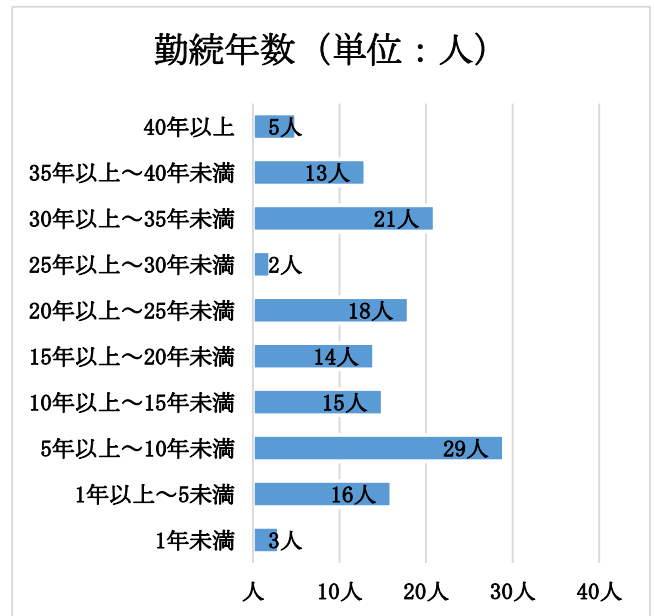
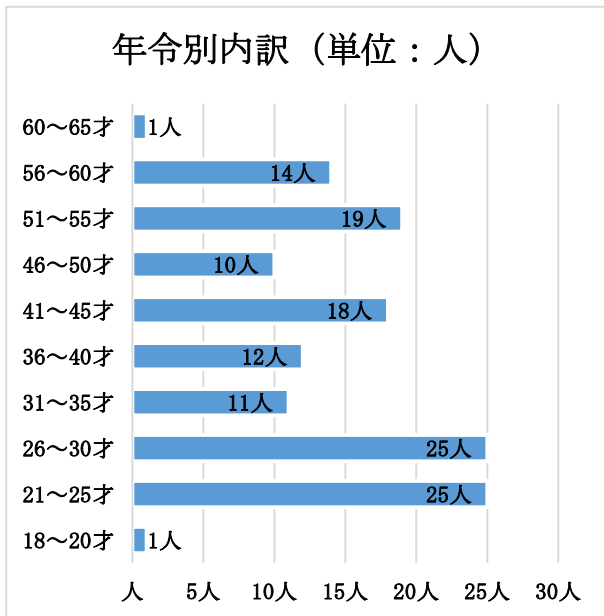
令和8年4月1日現在

		階 級	消防監	消防司令長			消防司令		消防司令補		消防士長	消防副士長	消防士	所屬計	担当計
所属(担当)		職 名	消防長	担当部長	参事	課長	総括主幹	主幹	副主幹	主査	主任	主事	主事		
消防本部	消 防 長		1											1	
	消防総務課	課 長			1									1	20
		総務担当					1			1	1	1	3	7	
		警防担当						1			3	1		5	
		指令センター					2	3		1				6	
		市役所								1				1	
	予 防 課	課 長			1									1	7
		予防担当					2		1	2	1			6	
	小 計			1	0	2	0	5	4	1	5	5	2	3	28
消防署	署 長				1									1	
		管理担当						1		2				3	
	警備第1課	課 長				1								1	34
		消 防					2	2	1	3	1	2	2	13	
		救 助						1		1	2	2		6	
		北 分 署					1	1		2		3		7	
		南 分 署						2		1	1	3		7	
	警備第2課	課 長				1								1	35
		消 防					1	3		3	1	2	4	14	
		救 助						1		1	2	2		6	
		北 分 署					1	1		1	1	3		7	
		南 分 署					1	1		2		3		7	
	警備第3課	課 長				1								1	35
		消 防					2	2	1	2	1	3	3	14	
		救 助						1		1	2	2		6	
		北 分 署						2			2	3		7	
		南 分 署					1	1		1	1	2	1	7	
小 計			0	0	1	3	9	19	2	20	14	30	10	108	
合 計			1	0	3	3	14	23	3	25	19	32	13	136	
(救急救命士)						1	1	4	1	11	4	10	4	36	
(女性職員数)										3		2	2	7	

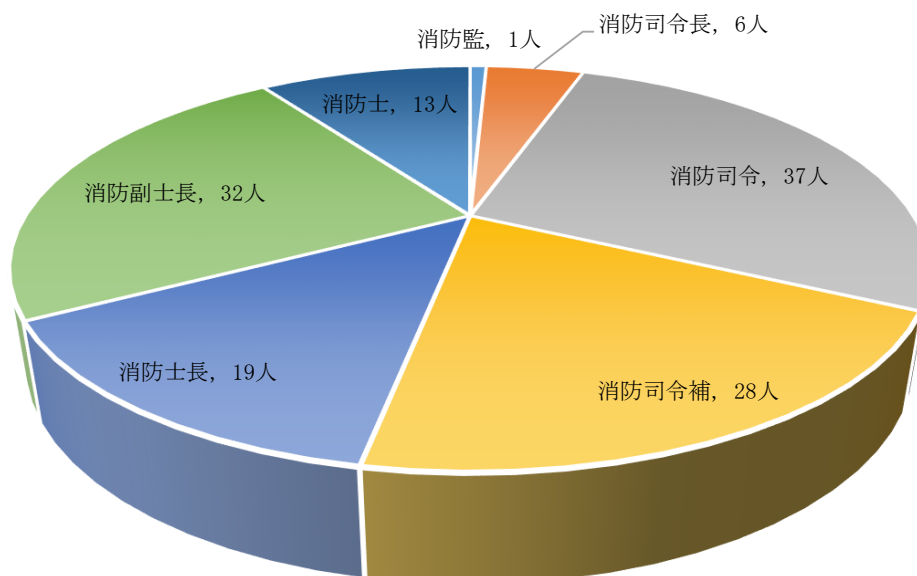
※再任用職員を除く。

消防職員 年令別/勤続年数/階級内訳

消防職員は、市民の生命と財産を守り、安全安心な地域社会実現のため各種災害に対処し、災害の防除・救急救助等の消防業務に努めています。今年度は、136人の職員が在職しています。（うち、女性職員7人）



階級別内訳（単位：人）



職員研修調（令和7年度）

1 消防学校

教 育 内 容		令和7年度	令和6年度	令和5年度
初任	初任教育	6	2	4
専科	警防科	0	1	0
	特殊災害科	1	1	0
	予防査察科	2	2	2
	火災調査科	2	2	2
	救急科	3	2	3
	救助科	1	0	1
特別	救急救命士研修	0	1	0
	はしご車操作員課程	1	1	0
	女性活躍推進研修	1	1	1
	操法指導員研修	2	3	2
	体力錬成指導員研修	0	0	0
	外国人対応研修	0	0	0
	航空特別応援研修	1	1	1
	火災性状特別研修	3	3	3
	幹部特別教育	1	1	1

2 消防大学校

教 育 内 容	令和7年度	令和6年度	令和5年度
上級幹部科	0	0	0
幹部科	0	1	0
警防科	0	0	0
救助科	0	0	0
救急科	0	0	0
予防科	0	0	0
危険物科	0	0	0
火災調査科	1	0	0
現任教官科	0	0	0
NBCコース	0	0	0
消防団活性化推進コース	1	0	0
女性活躍推進コース	1	0	0

3 救急救命士

教 育 内 容	令和7年度	令和6年度	令和5年度
気管挿管病院実習	2	2	2
フォロー研修	22	19	15
ビデオ喉頭鏡気管挿管実習	1	2	2

4 その他の研修

研 修 内 容	令和7年度	令和6年度	令和5年度
小型移動式クレーン・玉掛け技能講習	2	2	2
酸欠・硫化水素作業主任者技能講習	3	3	3
ガス溶接技能講習	0	0	3
フルハーネス墜落制止用器具特別教育	0	0	3
テールゲートリフター特別教育	0	0	1
ドローン講習	0	0	4
ドローン国家資格 二等無人航空機操縦士	0	4	0
藤沢市消防局へ派遣	1	1	0

免許等取得状況

令和8年4月1日現在

階級別 免許・資格	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
大型自動車	94	1	6	37	20	15	15	
中型自動車	4				3		1	
中型自動車（8 t 限定）	2				2			
準中型自動車	4					2	1	1
準中型自動車（5 t 限定）	10				3	2	5	
普通自動車	16						10	6
大型特殊自動車	4	1		3				
小型車両系建設機械	1			1				
車両系建設機械	3	1		2				
小型移動式クレーン	55	1	5	23	12	9	5	
玉掛け	57	1	5	23	12	10	6	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	17		1	4	3	5	4	
ガス溶接	39	1	4	22	6	5	1	
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	17		2	7	2	3	3	
テールゲートリフター特別教育	2			1		1		
ドローン講習	5		2	3				
ドローン国家資格 （二等無人航空機操縦士）	4				3	1		
衛生管理者	5	1		2	1	1		
危険物取扱者（甲）	2			1	1			
危険物取扱者（乙）	115	1	3	28	26	19	30	8
危険物取扱者（丙）	18		5	10	3			
指導救命士	6		1	4	1			
救急救命士	36		1	5	12	4	10	4
救急課程（Ⅱ、標準含む）	91		4	29	15	15	22	6

（再任用及び新採用職員は除く）

予防技術資格者

階級別 種類	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防設備等	10			5	4	1		
防火査察	14			8	5	1		
危険物	12			6	5	1		

（経過措置による資格者は除く）

予防技術検定合格者

階級別 種類	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防設備等	4		1		3			
防火査察	44		2	13	12	8	9	
危険物	12		1	3	4	3	1	

全国消防救助技術大会出場歴

出場年度/大会回数	出場種目	開催地	備 考
昭和57年/第11回	ロープブリッジ救出	横浜	
昭和60年/第14回	障害突破	広島	
昭和62年/第16回	引揚救助	千葉	
昭和63年/第17回	障害突破	横浜	
平成元年/第18回	はしご登はん	名古屋	
平成2年/第19回	引揚救助	広島	
平成7年/第24回	引揚救助・障害突破	北九州	
平成8年/第25回	引揚救助	札幌	
平成11年/第28回	障害突破・ほふく救出	横浜	
平成13年/第30回	ロープ登はん	東京	
平成15年/第32回	ロープ登はん	仙台	
平成26年/第43回	ほふく救出	千葉	中止
平成28年/第45回	引揚救助	松山	
平成29年/第46回	障害突破	仙台	
令和8年/第54回	障害突破	新潟	



第54回全国消防救助技術大会（障害突破）

災害派遣一覧

消防災害派遣

派遣年月	災害名	派遣期間	派遣延べ人数
平成7年 1月	阪神・淡路大震災	平成7年1月18日～1月23日	11人

緊急消防援助隊派遣

派遣年月	災害名	派遣期間	派遣延べ人数
平成23年 3月	東日本大震災	平成23年3月11日～3月20日 3月25日～4月 3日	36人
令和 3年 7月	静岡県熱海市土石流災害	令和3年7月3日～7月12日	19人
令和 6年 1月	能登半島地震	令和6年1月9日～1月26日	30人
令和 7年 3月	岩手県大船渡市林野火災	令和7年3月3日～3月13日	21人

緊急消防援助隊とは

平成7年1月17日に発災した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、平成7年6月に創設されました。

綾瀬市では、現在、消火小隊、救急小隊及び後方支援小隊の3部隊を緊急消防援助隊派遣部隊として登録しています。

歴 代 消 防 長

	氏 名	就 任 年 月	退 任 年 月
初 代	福 島 正 夫	昭和47年 4月	昭和50年 6月
第2代	多 田 光 夫	昭和50年 7月	昭和56年 6月
第3代	般 林 端 堂	昭和56年 7月	昭和59年 3月
第4代	鎌 田 峰 義	昭和59年 4月	昭和62年 5月
第5代	戸井田 國 輝	昭和62年 6月	平成 元年 3月
第6代	浅 田 大 和	平成 元年 4月	平成 4年12月
第7代	戸井田 國 輝	平成 5年 1月	平成 8年10月
第8代	高 島 孝 夫	平成 8年11月	平成12年10月
第9代	新 倉 賢 一	平成12年11月	平成16年 9月
第10代	田 中 勉	平成16年10月	平成20年 3月
第11代	橘 川 利 一	平成20年 4月	平成24年 3月
第12代	平 野 正 雄	平成24年 4月	平成27年 3月
第13代	三 浦 祐 一	平成27年 4月	平成30年 3月
第14代	小 菅 誠 二	平成30年 4月	令和 2年 3月
第15代	岡 田 良 春	令和 2年 4月	令和 6年 3月
第16代	保 田 政 浩	令和 6年 4月	現在に至る

叙勲消防功績受章者

勲五等瑞宝章

受章年月日	氏 名	階 級
平成14年4月29日	鎌 田 峰 義	消防監

瑞宝双光章

受章年月日	氏 名	階 級
平成26年4月29日	橘 川 利 一	消防監
令和4年11月3日	天 野 哲	消防司令長
令和6年11月3日	三 浦 祐 一	消防監

瑞宝単光章

受章年月日	氏 名	階 級
令和3年11月3日	白 石 賀 廣	消防司令
令和4年11月3日	佐 藤 宏	消防司令長

※階級は退職時のもの

消防庁長官表彰受章者

功労章

受章年度	氏 名	受章時階級
平成19年度	橋 川 利 一	消防司令長

永年勤続功労章

昭和55年度	鎌 田 峰 義	消防司令長
平成 4 年度	白 石 賀 廣	消防司令
平成 8 年度	吉 井 繁 長	消防司令補
平成 9 年度	比 留 川 基	消防司令
平成10年度	野 原 明	消防司令
平成11年度	末 次 卓 己	消防司令長
平成12年度	峯 山 猛	消防司令
平成15年度	早 川 崇	消防司令補
平成16年度	宇 野 明	消防司令長
平成17年度	田 中 孝	消防司令
平成18年度	川 井 優	消防司令
平成19年度	原 田 明 夫	消防司令
	天 野 哲	消防司令
平成20年度	佐 藤 宏	消防司令
平成21年度	林 康 正	消防司令
	渡 部 誠 一	消防司令
平成22年度	山 口 典 久	消防司令長
平成23年度	柏 木 雅 弘	消防司令
平成24年度	三 浦 祐 一	消防司令長
平成25年度	大 川 和 明	消防司令
平成26年度	井 上 生 一	消防司令
平成27年度	三 村 茂 美	消防司令長
平成28年度	小 菅 誠 二	消防司令長
平成29年度	畑 山 勉	消防司令長
	池 田 浩 勝	消防司令長
平成30年度	鈴 木 直 樹	消防司令長
令和元年度	花 井 正 樹	消防司令長
令和 2 年度	遠 藤 和 義	消防司令長
令和 3 年度	川 島 明 夫	消防司令長
令和 4 年度	巻 田 聡	消防司令長
令和 5 年度	比留川 浩 史	消防司令長
令和 6 年度	岡 田 良 春	消防司令長
令和 7 年度	保 田 政 浩	消防監

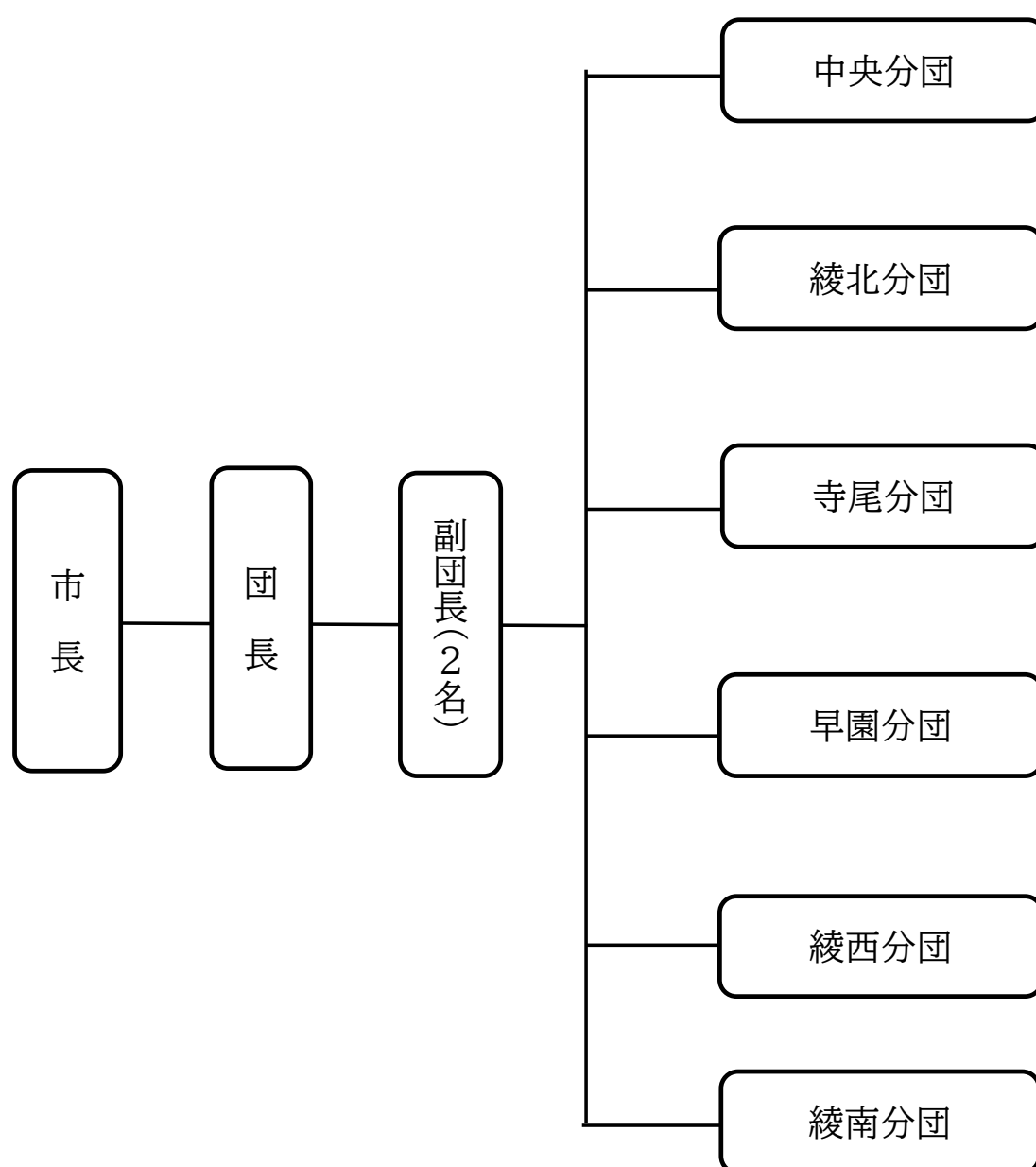
消防概要 (消防団)

非常備消防（消防団）組織図

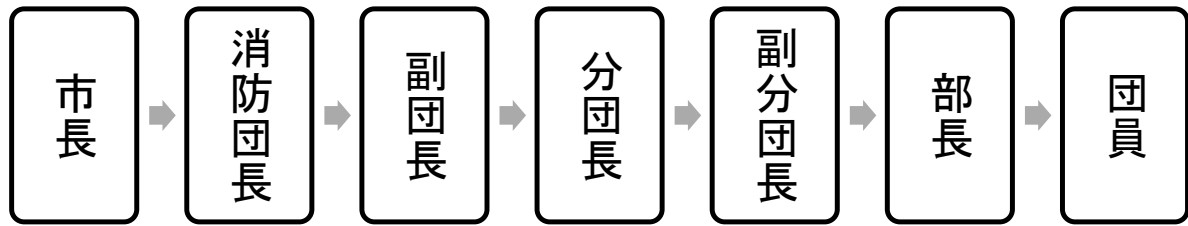
消防団は消防職員とは異なり、自分の職業を持ちながら、市民の生命、身体及び財産の保護を目的に、昼夜の別なく活躍している組織です。

火災、水害等の災害時には、消防本部と共に現場活動を実施しています。

現在は、田中消防団長を始めとする消防団員が本業を持ちながら「自らの地域は自ら守る。」という郷土愛護の精神に基づき、消防・防災活動を行っております。



消防団命令系統図



消防団員年報酬額

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	団 員
年 報 酬 額	154,500円	114,300円	90,200円	77,500円	60,200円	48,800円

消防団員出動報酬額

出 動 区 分	水 火 災	警 戒・訓 練
出 動 報 酬 額	1回（3時間未満の場合）4,000円 1回（3時間以上の場合）8,000円	1 回 3,500円

※条例改正により令和4年4月1日から3時間未満の水火災の支給額が4,000円、3時間以上の水
火災の支給額が8,000円、警戒・訓練が1回3,500円となった。

消防団現況調

令和8年4月1日現在

区 分 分 団 別	消 防 団 員 数							ポ ン プ 数		
	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	団 員	計	ポン プ 車	小型 動力
定 員	165	1	2	6	12	36	108			
実員(数)	136	1	2	6	12	36	79	12	6	6
本 部	3	1	2							
中央分団	27			1	2	6	18	2	1	1
綾北分団	11			1	2	6	2	2	1	1
寺尾分団	19			1	2	6	10	2	1	1
早園分団	24			1	2	6	15	2	1	1
綾西分団	29			1	2	6	20	2	1	1
綾南分団	23			1	2	6	14	2	1	1

消防団車両機械一覧表

分 団 名	配 置 機 械		車両会社名	級別	ポンプ会社名	登録年月日	免許区分
中央分団		消防ポンプ自動車	トヨタ	A 2	(株) モリタ	平成 20 年 2 月 19 日	準中型 5 t
		資機材搬送車	スズキ			令和 8 年 7 月 30 日	普通
		小型動力ポンプ		B 2	トーハツ	平成 28 年 11 月 8 日	
綾北分団		消防ポンプ自動車	トヨタ	A 2	(株) モリタ	令和 5 年 2 月 27 日	普通
		資機材搬送車	スズキ			令和 8 年 7 月 30 日	普通
		小型動力ポンプ		B 2	トーハツ	平成 30 年 9 月 19 日	
寺尾分団		消防ポンプ自動車	トヨタ	A 2	(株) モリタ	令和 6 年 12 月 23 日	普通
		資機材搬送車	スズキ			令和 8 年 7 月 30 日	普通
		小型動力ポンプ		B 2	トーハツ	平成 28 年 11 月 8 日	
早園分団		消防ポンプ自動車	トヨタ	A 2	(株) モリタ	令和 6 年 2 月 8 日	普通
		資機材搬送車	スズキ			令和 8 年 7 月 30 日	普通
		小型動力ポンプ		B 2	トーハツ	平成 29 年 11 月 25 日	
綾西分団		消防ポンプ自動車	トヨタ	A 2	(株) モリタ	令和 7 年 11 月 27 日	普通
		資機材搬送車	スズキ			令和 8 年 7 月 30 日	普通
		小型動力ポンプ		B 2	トーハツ	平成 29 年 11 月 25 日	
綾南分団		消防ポンプ自動車	いすゞ	A 2	(株) モリタ	平成 19 年 3 月 22 日	準中型 5 t
		資機材搬送車	スズキ			令和 8 年 7 月 30 日	普通
		小型動力ポンプ		B 2	トーハツ	平成 30 年 9 月 19 日	



消防団車両は、普通自動車免許区分の消防車両へ随時更新しています。

被服及び主な資器材

	冬制服 (団本部のみ)		防火服
	夏制服 (団本部のみ)		雨衣
	活動服		チェーンソー チャップス
	放水用資機材 (ホースバック)		放水用資機材 (ガンタイプノズル)
	投光器 コードリール 発電機		投光器 (バッテリー式)
	救助工具キット		あやびい 消防団Ver.

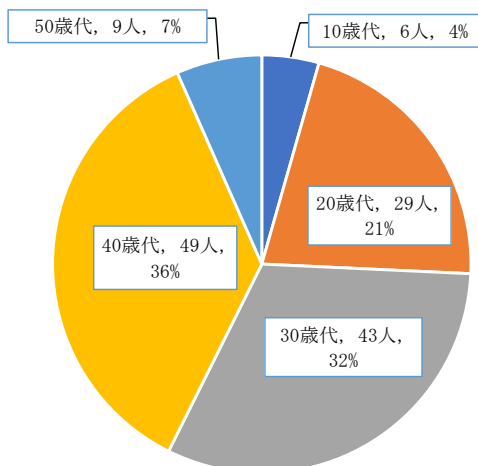
消防団員年令調

令和8年4月1日現在

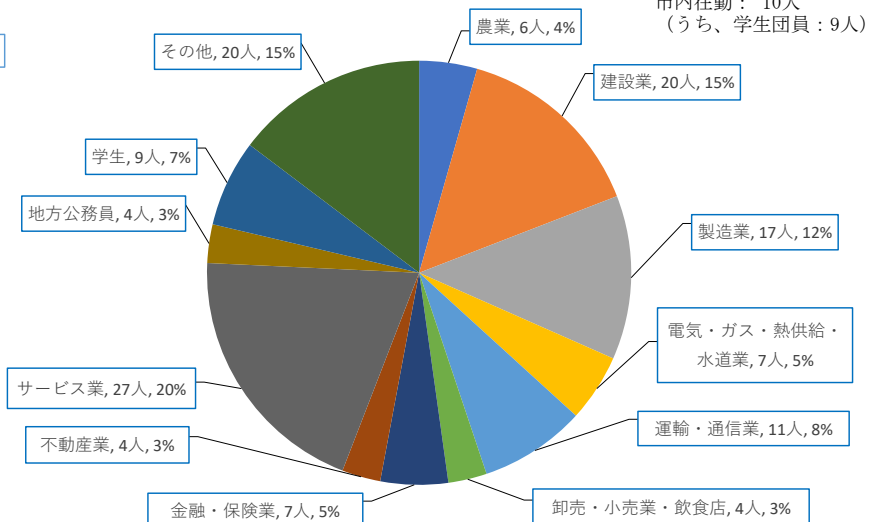
階級 年令	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	団員
18 才	1						1
19	5						5
20	1						1
21	3						3
22	3						3
23	7					1	6
24	4						4
25	3						3
26	1						1
27	2						2
28	2						2
29	3					2	1
30	1					1	
31	7					3	4
32	5					2	3
33	5					1	4
34	5					2	3
35	3				1	1	1
36	6			1		1	4
37	3				2	1	
38	7		1	1	1	2	2
39	1					1	
40	2			1		1	
41	2				1		1
42	4				1	2	1
43	7			1	1	1	4
44	5			1	1	2	1
45	9	1				2	6
46	7					1	6
47	4				1	2	1
48	1						1
49	8					4	4
50	3		1		2		
51	1						1
52	3				1	2	
53	1					1	
54	1			1			
55							
56							
57							
58							
59							
60 歳以上							
人員合計	136	1	2	6	12	36	79
総年令	4,966	45	88	255	516	1430	2632
平均年令	37	45	44	43	43	40	33

※平均年令は、端数を切り捨てた年令の合計数を平均し、小数点以下は四捨五入した。

年代別消防団員数



消防団員の職業



消防団員勤続年数調

令和8年4月1日現在

階級 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	団員
1 年未満	9						9
1 ～ 2	10						10
2 ～ 3	13					4	9
3 ～ 4	5					2	3
4 ～ 5	4					1	3
5 ～ 6	2						2
6 ～ 7	2						2
7 ～ 8	4					1	3
8 ～ 9	5				1	2	2
9 ～ 10	4					1	3
10 ～ 11	10				3	2	5
11 ～ 12	7			1		4	2
12 ～ 13	5				2	2	1
13 ～ 14	3					1	2
14 ～ 15	9		1			4	4
15 ～ 16	3						3
16 ～ 17	12			2	2	1	7
17 ～ 18	2		1				1
18 ～ 19	11				3	6	2
19 ～ 20	1						1
20 ～ 21	4	1		1		1	1
21 ～ 22	2					1	1
22 ～ 23	7			2	1	1	3
23 ～ 24							
24 ～ 25							
25 ～ 26							
26 ～ 27							
27 ～ 28							
28 ～ 29							
29 ～ 30							
30 ～ 31							
31 ～ 32	1					1	
32 ～ 33	1					1	
33 ～ 34							
34 ～ 35							
35 ～ 36							
36 ～ 37							
37 ～ 38							
38 ～ 39							
39 ～ 40							
人員合計	136	1	2	6	12	36	79
総年数	1,422	20	31	107	170	457	637
平均年数	10	20	16	18	14	13	8

※ 1 ～ 2 （1 年以上 2 年未満）

平均年数は、端数を切り捨てた年数の合計数を平均し、小数点以下は四捨五入した。

消防団員研修調（令和 7 年度）

1 神奈川県消防協会

研 修 内 容	受 講 団 員	日 数	人 員
副団長研修	副団長	1	1
指導者講習	部長・団員	1	4
指導員研修	分団長	2	0
地震対策特別講習	分団長	1	1
分団長研修	部長	1	1
幹部候補研修	団員	1	1
幹部研修	部長	1	1
機関科		2	6
女性消防団員研修	女性団員	1	1

2 日本消防協会

教 育 内 容	受 講 団 員	日 数	人 員
消防団幹部候補中央特別研修		3	0

叙勲消防功績受章者

勲七等瑞宝章

受章年月日	氏 名	階 級
昭和48年4月29日	山 口 一 三 氏	分団長
昭和51年11月3日	山 口 宣 雄 氏	副団長
昭和55年11月1日	見 上 傳 氏	分団長

※階級は退団時のもの

消防庁長官表彰受章者

永年勤続功労章

受章年月	氏 名	受章時階級
昭和52年3月	新 倉 敬 次	消防団長
昭和56年3月	重 森 進	消防団長
平成3年2月	笠 間 城治郎	消防団長

消防団受章歴

受章年度	内 容
昭和36年度	日本消防協会竿頭綬
昭和54年度	消防庁長官竿頭綬
昭和58年度	日本消防協会表彰旗
昭和60年度	消防庁長官表彰旗
昭和63年度	日本消防協会竿頭綬
平成2年度	神奈川県消防協会表彰旗
平成10年度	日本消防協会特別表彰（まとい）
平成15年度	神奈川県消防協会竿頭綬
平成24年度	日本消防協会竿頭綬
令和4年度	消防庁長官竿頭綬
令和5年度	神奈川県消防協会竿頭綬

全国消防操法大会出場歴

受賞年度	大会名	分団名	備 考
昭和57年度	第 8 回大会	綾南分団	
昭和61年度	第10回大会	寺尾分団	入 賞
平成 2 年度	第12回大会	綾西分団	敢闘賞

神奈川県消防操法大会最優秀賞受賞歴

受賞年度	大会名	分団名	備 考
昭和34年度	第 9 回大会	第12分団根恩馬	
昭和56年度	第31回大会	綾西分団	
昭和57年度	第32回大会	綾南分団	
昭和61年度	第35回大会	寺尾分団	
平成 2 年度	第37回大会	綾西分団	
平成16年度	第44回大会	綾南分団	
平成24年度	第48回大会	早園分団	

神奈川県消防操法大会 出動分団及び結果

開催年度	回 数	出場分団	出場種目	結 果	備 考
昭和３４年度	第 ９回	第１２分団 根恩馬	三輪自動車ポンプ	最優秀賞	
昭和３８年度	第１３回	第４分団 蓼川	ポンプ車	優秀賞	
昭和４２年度	第１７回	綾西分団	小型ポンプ	優秀賞	
昭和４６年度	第２１回	綾南分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和４８年度	第２３回	綾西分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和４９年度	第２４回	綾南分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和５０年度	第２５回	綾南分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和５１年度	第２６回	綾南分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和５２年度	第２７回	中央分団	自動車ポンプ	優良賞	
昭和５３年度	第２８回	綾北分団	自動車ポンプ	優良賞	
昭和５４年度	第２９回	寺尾分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和５５年度	第３０回	早園分団	自動車ポンプ	優良賞	
昭和５６年度	第３１回	綾西分団	自動車ポンプ	最優秀賞	
昭和５７年度	第３２回	綾南分団	自動車ポンプ	最優秀賞	全国大会出場
昭和５８年度	第３３回	中央分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和５９年度	第３４回	綾北分団	自動車ポンプ	優秀賞	
昭和６１年度	第３５回	寺尾分団	自動車ポンプ	最優秀賞	全国大会 入賞
昭和６３年度	第３６回	早園分団	自動車ポンプ	優秀賞	
平成 ２年度	第３７回	綾西分団	自動車ポンプ	最優秀賞	全国大会 敢闘賞
平成 ４年度	第３８回	綾南分団	自動車ポンプ	優良賞	
平成 ６年度	第３９回	中央分団	自動車ポンプ	優秀賞	
平成 ８年度	第４０回	綾北分団	自動車ポンプ	優良賞	
平成１０年度	第４１回	寺尾分団	自動車ポンプ	優良賞	
平成１２年度	第４２回	早園分団	自動車ポンプ	優秀賞	
平成１４年度	第４３回	綾西分団	自動車ポンプ	優秀賞	
平成１６年度	第４４回	綾南分団	自動車ポンプ	最優秀賞	
平成１８年度	第４５回	中央分団	自動車ポンプ	優秀賞	
平成２０年度	第４６回	綾北分団	自動車ポンプ	優秀賞	
平成２２年度	第４７回	寺尾分団	自動車ポンプ	優良賞	
平成２４年度	第４８回	早園分団	自動車ポンプ	最優秀賞	
平成２６年度	第４９回	綾西分団	自動車ポンプ	優秀賞	
平成２８年度	第５０回	綾南分団	小型ポンプ	優秀賞	
平成３０年度	第５１回	中央分団	自動車ポンプ	優良賞	
令和 ２年度	第５２回	綾北分団	新型コロナウイルス感染症 中止		
令和 ３年度	第５３回	選抜チーム	新型コロナウイルス感染症 中止		
令和 ４年度	第５４回	寺尾分団	小型ポンプ	優良賞	
令和 ６年度	第５５回	早園分団	自動車ポンプ	優秀賞	
令和 ８年度	第５６回	綾西分団	小型ポンプ	優秀賞	

綾瀬市消防操法大会 出動分団及び結果

開催年度	回数	種目	最優秀賞	優秀賞	優良賞	備考
昭和42年度	第1回	小型	綾西分団	中央分団		
昭和43年度	第2回	小型	綾南分団	綾北分団		
		自動車	中央分団			
昭和45年度	第3回	自動車	綾南分団	早園分団		
昭和46年度	第4回	自動車	綾南分団	中央分団		
昭和47年度	第5回	自動車	綾西分団	綾南分団		
昭和48年度	第6回	自動車	綾南分団	綾西分団		署参加
昭和49年度	第7回	自動車	綾南分団B	綾南分団A		署参加
昭和51年度	第8回	基本操法	綾南分団A	綾南分団B		
		応用操法	綾南分団	第2小隊		署参加
昭和53年度	第9回	基本操法	綾南分団	寺尾分団		
		応用操法	綾南分団	寺尾分団		
昭和54年度	第1回	小型	寺尾分団	早園分団	トビー工業	市制施行
		自動車	中央分団	綾西分団		
昭和55年度	第2回	消火器	綾西分団	綾北分団	寺尾分団	
		自動車	寺尾分団	中央分団	綾南分団	
		小型			トビー工業	
昭和56年度	第3回	自動車	早園分団A	綾北分団A	寺尾分団A	優良他4チーム
		小型			トビー工業	
昭和57年度	第4回	自動車	綾西分団	寺尾分団	早園分団	優良他2チーム
		小型			トビー工業	
昭和58年度	第5回	自動車	早園分団A	綾西分団B	綾北分団B	優良他2分団
昭和59年度	第6回	自動車	綾西分団	寺尾分団	中央分団	優良他2分団
		小型	中央分団	綾西分団	トビー工業	優良他3分団
昭和60年度	第7回	自動車	寺尾分団A	綾西分団B	中央分団A	優良他出場分団
				早園分団B		
昭和61年度	第8回	自動車	綾西分団	中央分団	綾北分団	
		小型	綾西分団	綾南分団	早園分団	
昭和62年度	第9回	自動車	寺尾分団	綾南分団	綾北分団	
		小型	綾南分団	寺尾分団	中央分団	
昭和63年度	第10回	自動車	寺尾分団	綾西分団	綾北分団	
		小型	寺尾分団	綾南分団	綾西分団	
平成元年度	第11回	自動車	綾西分団	寺尾分団	綾南分団	
		小型	寺尾分団	中央分団	綾西分団	
平成2年度	第12回	自動車	綾南分団	寺尾分団	綾北分団	
		小型	早園分団	寺尾分団	綾南分団	
平成3年度	第13回	自動車	綾南分団	綾西分団	綾北分団	
		小型	綾南分団	綾西分団	中央分団	
平成4年度	第14回	自動車	早園分団	綾北分団	中央分団	
		小型	綾南分団	綾西分団	中央分団	
平成5年度	第15回	自動車	綾西分団	綾南分団	綾北分団	
		小型	綾南分団	中央分団	綾西分団	
平成6年度	第16回	自動車	綾南分団	綾西分団	寺尾分団	
		小型	綾南分団	綾西分団	寺尾分団	
平成7年度	第17回	自動車	綾西分団	綾南分団	綾北分団	
		小型	綾南分団	綾西分団	綾北分団	
平成8年度	第18回	自動車	中央分団	綾西分団	綾南分団	
		小型	中央分団	綾西分団	綾南分団	
平成9年度	第19回	自動車	綾南分団	綾北分団	綾西分団	
		小型	綾西分団	綾南分団	中央分団	

開催年度	回数	種目	最優秀賞	優秀賞	優良賞	備考
平成10年度	第20回	自動車	綾北分団	綾西分団	中央分団	
		小型	綾西分団	早園分団	綾南分団	
平成11年度	第21回	自動車	綾南分団	綾西分団	綾北分団	
		小型	寺尾分団	綾西分団	綾南分団	
平成12年度	第22回	自動車	綾西分団	綾南分団	寺尾分団	
		小型	中央分団	綾西分団	綾南分団	
平成13年度	第23回	自動車	早園分団	中央分団	綾西分団	
		小型	中央分団	綾北分団	早園分団	
平成14年度	第24回	自動車	早園分団	寺尾分団	綾北分団	
		小型	中央分団	早園分団	寺尾分団	
平成15年度	第25回	自動車	早園分団	綾南分団	綾西分団	
		小型	綾南分団	綾北分団	綾西分団	
平成16年度	第26回	自動車	早園分団	寺尾分団	綾北分団	
		小型	綾西分団	早園分団	寺尾分団	
平成17年度	第27回	自動車	早園分団	綾北分団	綾西分団	
		小型	綾西分団	綾南分団	早園分団	
平成18年度	第28回	自動車	綾西分団	綾南分団	早園分団	
		小型	綾西分団	寺尾分団	早園分団	
平成19年度	第29回	自動車	綾西分団	早園分団	綾南分団	
		小型	早園分団	綾北分団	綾西分団	
平成20年度	第30回	自動車	綾西分団	早園分団	綾南分団	
		小型	綾西分団	早園分団	綾南分団	
平成21年度	第31回	自動車	綾南分団	綾西分団	綾北分団	
		小型	綾南分団	綾北分団	綾西分団	
平成22年度	第32回	自動車	早園分団	綾南分団	綾北分団	
		小型	早園分団	綾南分団	綾西分団	
平成23年度	第33回	自動車	綾西分団	早園分団	綾北分団	
		小型	綾西分団	早園分団	綾北分団	
平成24年度	第34回	自動車	綾北分団	綾西分団	中央分団	
		小型	綾北分団	綾西分団	綾南分団	
平成25年度	第35回	自動車	早園分団	綾西分団	寺尾分団	
		小型	早園分団	綾西分団	綾北分団	
平成26年度	第36回	自動車	早園分団	綾南分団	中央分団	
		小型	早園分団	綾北分団	寺尾分団	
平成27年度	第37回	自動車	綾西分団	早園分団	綾南分団	
		小型	早園分団	中央分団	綾南分団	
平成28年度	第38回	自動車	綾西分団	早園分団	中央分団	
		小型	綾西分団	早園分団	綾北分団	
平成29年度	第39回	自動車	早園分団	綾西分団	綾北分団	
		小型	綾西分団	早園分団	綾南分団	
平成30年度	第40回	自動車	綾西分団	早園分団	綾南分団	
		小型	綾西分団	早園分団	綾南分団	
令和元年度	第41回	自動車	早園分団	綾西分団	中央分団	
		小型	綾西分団	綾北分団	寺尾分団	
令和2年度	第42回					計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止
令和3年度						新型コロナウイルス感染症 中止
令和4年度						新型コロナウイルス感染症 中止
令和5年度	第43回	自動車	綾南分団	綾北分団	綾西分団	令和5年度より隔年で開催することとした。
		小型	綾西分団	綾南分団	早園分団	
令和7年度	第44回	自動車	綾西分団	早園分団	綾南分団	熱中症対策のため10月に開催

歴代消防団長

	氏 名	就 任 年 月	退 任 年 月
初 代	田 中 好 三	昭和22年 7月	昭和23年12月
第2代	田 中 好 三	昭和24年 1月	昭和25年12月
第3代	近 藤 俊 平	昭和26年 1月	昭和27年12月
第4代	福 島 一 夫	昭和28年 1月	昭和29年12月
第5代	内 藤 常 吉	昭和30年 1月	昭和31年12月
第6代	小山田 兵 衛	昭和32年 1月	昭和33年12月
第7代	小山田 兵 衛	昭和34年 1月	昭和36年 3月
第8代	金 子 博	昭和36年 4月	昭和38年 3月
第9代	栗 原 利 光	昭和38年 4月	昭和40年 3月
第10代	鈴 木 進	昭和40年 4月	昭和42年 3月
第11代	守 矢 保	昭和42年 4月	昭和44年 3月
第12代	古 塩 健 平	昭和44年 4月	昭和46年 3月
第13代	比留川 政 治	昭和46年 4月	昭和48年 3月
第14代	佐 藤 正 良	昭和48年 4月	昭和50年 4月
第15代	新 倉 敬 次	昭和50年 5月	昭和52年 3月
第16代	金 子 鴻	昭和52年 4月	昭和54年 3月
第17代	重 森 進	昭和54年 4月	昭和56年 3月
第18代	比留川 茂 一	昭和56年 4月	昭和58年 3月
第19代	内 藤 盟	昭和58年 4月	昭和60年 3月
第20代	川 口 賢 一	昭和60年 4月	昭和62年 3月
第21代	増 田 淳一郎	昭和62年 4月	平成 元年 3月
第22代	笠 間 城治郎	平成 元年 4月	平成 3年 3月
第23代	古 郡 保 正	平成 3年 4月	平成 5年 3月
第24代	古 郡 保 正	平成 5年 4月	平成 6年 3月
第25代	齊 藤 和 夫	平成 6年 4月	平成 8年 3月
第26代	峯 尾 晃	平成 8年 4月	平成10年 3月
第27代	志 澤 定 之	平成10年 4月	平成12年 3月
第28代	廣 井 則 次	平成12年 4月	平成14年 3月
第29代	内 藤 眞 一	平成14年 4月	平成16年 3月
第30代	武 藤 俊 宏	平成16年 4月	平成18年 3月
第31代	細 谷 浩 之	平成18年 4月	平成20年 3月
第32代	加 藤 賢 吾	平成20年 4月	平成22年 3月
第33代	平 林 正 樹	平成22年 4月	平成24年 3月
第34代	鈴 木 敦	平成24年 4月	平成26年 3月
第35代	藤 井 孝 俊	平成26年 4月	平成28年 3月

歴代消防団長

	氏 名	就 任 年 月	退 任 年 月
第36代	古 郡 敏 正	平成28年 4月	平成30年 3月
第37代	齊 藤 和 則	平成30年 4月	令和 2年 3月
第38代	室 井 智 直	令和 2年 4月	令和 4年 3月
第39代	山 田 雄 介	令和 4年 4月	令和 6年 3月
第40代	大 久 保 豊	令和 6年 4月	令和 8年 3月
第41代	田 中 英 之	令和 8年 4月	現在に至る

消防団協力事業所認定事業所一覧

～綾瀬市消防団協力事業所～

綾瀬市消防団に積極的に協力(地域貢献)していただいている事業所又は団体です。
地域防災の中核的存在である消防団員数が年々減少する中、消防団の活性化を図るために事業所が消防団員の活動を理解・協力することにより、地域防災体制が一層充実されることを目的としています。

No.	事業所名	住所	認定日
1	有限会社 ワコー厨房	深谷上2-11-1	令和6年11月21日
2	株式会社 山雄園	落合南7-1-17	令和6年11月21日
3	全農パールライス (株) 神奈川精米工場	早川2605-5	令和6年11月21日
4	神奈川県家畜商業協同組合	吉岡2645-2	令和6年11月21日
5	春日幼稚園	吉岡1360	令和6年11月21日
6	株式会社オーククリーン	寺尾北1-14-13	令和7年2月14日
7	学校法人 湘央学園	小園1424-4	令和7年2月14日
8	株式会社 S A T O	早川城山3-15-9	令和8年4月1日

災害統計 (火災関係)

令和7年火災一覧

火災番号	火災種別	爆発の有無	出火推定日時				覚知方法	気象状況				焼 損 棟 数				り災世帯数				死傷者		建物焼失面積 (㎡)		(a)林野焼失面積	車両焼損台数	火 災 損 害 額 (千円)					出動車両 (常備)	出動車両 (団)	出動車両合計	出動人員					合計	
			月	日	時	分		天候	風向	風速 (m/s)	相対湿度 (%)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	焼損棟数合計	全損	半損	小損	り災世帯合計	死 者	負傷者	床面積	表面積	建物	収容物	車両	その他	合計	職員				団員	職員	団員	米軍消防隊	海自消防隊		
1	建物	無	1	01	21	30	119番	晴	西北西	1	50			1	1			1	1	1	1	20				2,906	26	0	0	2,932	7	3	10	25	23					48
2	建物	無	1	20	6	40	119番	雨	東南東	2	78			1	1				0							0	0	0	0	0	8	4	12	28	22					50
3	建物	無	1	21	16	00	119番	晴	東	2	54			1	1			1	1	5						88				88	9	3	12	28	14	4			46	
4	その他	無	1	25	1	53	119番	曇	北	2	61				0			0											0	3	0	3	11					11		
5	その他	無	1	27	14	00	119番	晴	南南東	2	32				0			0											0	4	0	4	14					14		
6	その他	無	2	04	16	00	事後開知	雨	北西	1	54				0			0											0	1	0	1	4					4		
7	その他	無	2	27	14	53	119番	晴	南	4	40				0			0											0	3	0	3	10					10		
8	建物	無	3	01	14	50	119番	晴	南南西	6	52			1	1				0			20			66			600	666	9	3	12	25	17	4			46		
9	建物	無	3	02	16	25	事後開知	晴	南西	1	59			1	1			1	1	2		0				10			10	1	0	1	4					4		
10	建物	無	3	18	3	08	事後開知	曇	北北東	1	50			1	1			1	1	2			0						0	1		1	4					4		
11	その他	無	3	21	22	21	事後開知	晴	南南西	4	56				0			0											0	1		1	4					4		
12	その他	無	3	22	4	05	事後開知	晴	北東	0	69				0			0											0	1		1	4					4		
13	建物	無	4	03	20	25	119番	曇	北北東	2	86			1	1			1	1	1	1	6				5			5	8	3	11	26	19	4			49		
14	建物	無	4	08	23	21	119番	晴	西	1	67	1			1			0			562			3	4,918	2,190	2,000		9,108	19	3	22	25	20	4	#	#	79		
15	建物	無	5	01	10	50	119番	晴	南	5	55			1	1			0				2							0	8	2	10	26	9				35		
16	建物	無	5	04	2	03	加入	晴	北	1	83	1			1	1		1	3		199			2	17,224	2,883	828		20,935	8	3	11	25	26	4			55		
17	建物	無	5	23	17	03	119番	曇	北東	3	44	1			1	2		2	6		1,811			2	1,420	1,045	450		2,915	15	3	18	34	27	4	6	8	79		
18	車両	無	6	01	18	30	119番	曇	南	2	85				0			0						1			850		850	6		6	4		22			26		
19	その他	無	6	04	6	56	119番	晴	北東	0	92				0			0											0	3		3	10					10		
20	建物		6	14	2	00	事後開知	晴	南	2	93				1											2	1		3	1			4							

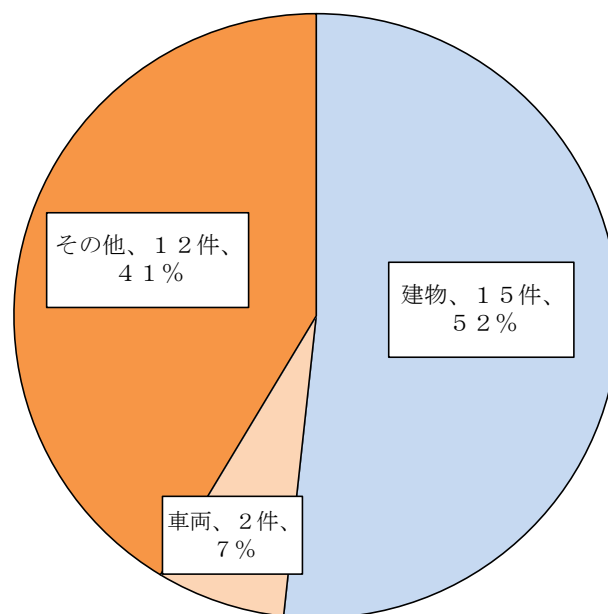
令和7年火災一覧

火災番号	火災種別	爆発の有無	出火推定日時				覚知方法	気象状況				焼 損 棟 数				り災世帯数				死傷者 死者 負傷者	建物焼失面積 (㎡)		(a) 林野焼失面積	車両焼損台数	火 災 損 害 額 (千円)					出動車両 (常備)	出動車両 (団)	出動車両合計	出動人員					合計
			月	日	時	分		天候	風向	風速 (m/s)	相対湿度 (%)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	焼損棟数合計	全損	半損	小損		り災世帯合計	建物			収容物	車両	その他	合計	市内				他都市	職員	団員	米軍消防隊	基地 海自消防隊	
21	車両	無	7	01	10	05	119番	晴	南	3	73				0			0					1					0	5	5	18					18		
22	その他	無	7	29	0	00	事後開知	晴	南	2	97				0			0										0	1	1	4					4		
23	その他	無	7	31	5	45	加入	晴	北	2	78				0			0								3	3	8	3	11	25	22	4			51		
24	その他	無	8	04	4	45	119番	晴	南南西	4	80				0			0										0	3	3	10					10		
25	その他	無	8	06	14	15	119番	晴	南	4	54				0			0										0	3	3	10					10		
26	建物	無	8	13	0	30	119番	曇	北北東	0	97			1	1			1	1	3		0				9		9	1	1	4					4		
27	その他	無	11	16	16	45	119番	晴	無	0	60				0			0										0	3	3	10					10		
28	建物	無	11	17	19	15	119番	晴	南西	4	49			1	1			1	1	4					12			12	8	3	11	25	19	4			48	
29	建物	無	12	11	11	40	119番	晴	南西	5	53	9	3	12	1			1	1			2,304	135	19	42,793	59,076		7,351	109,220	13	5	18	39	27	8			74

令和 7 年火災種別発生状況調

種 別	件 数	順 位
建 物	15	1
林 野	0	
車 両	2	3
船 舶	0	
航 空 機	0	
そ の 他	12	2
合 計	29	

建物火災 15 件の内訳は、以下のとおりです。
戸建て 6 件、共同住宅 3 件、
店舗 1 件、養豚場 1 件、工場 4 件



令和 7 年と過去 10 年間の火災状況比較

区分 年別	火 災 種 別					焼 損 棟 数	り 災 世 帯	り 災 人 員	死傷者		焼 失 面 積			車 両 焼 損 台 数	火 災 損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他				死 者	負 傷 者	建 物 床 面 積 (㎡)	建 物 表 面 積 (㎡)	林 野 面 積 (a)		
平成 27 年	24	15	0	3	6	21	6	14	1	8	324	55	0	5	187,179
平成 28 年	21	5	0	3	13	7	6	15	0	3	120	4	0	3	21,567
平成 29 年	33	18	0	3	12	21	27	45	2	9	550	88	0	4	107,918
平成 30 年	28	19	0	8	6	19	11	32	1	7	317	3	0	20	81,935
令和 元年	24	14	0	1	9	15	15	29	2	6	415	9	0	2	44,368
令和 2 年	16	8	0	3	5	8	5	18	0	4	180	60	0	11	29,473
令和 3 年	17	10	0	0	7	18	4	10	0	2	2,440	355	0	0	216,603
令和 4 年	22	8	0	4	10	12	7	15	1	2	247	11	0	7	12,300
令和 5 年	21	11	0	1	9	23	17	41	1	0	426	77	0	4	65,176
令和 6 年	19	12	0	3	4	14	6	23	0	6	467	122	0	16	29,206
平 均	23	12	0	3	9	15	10	22	1	5	574	73	0	7	87,668

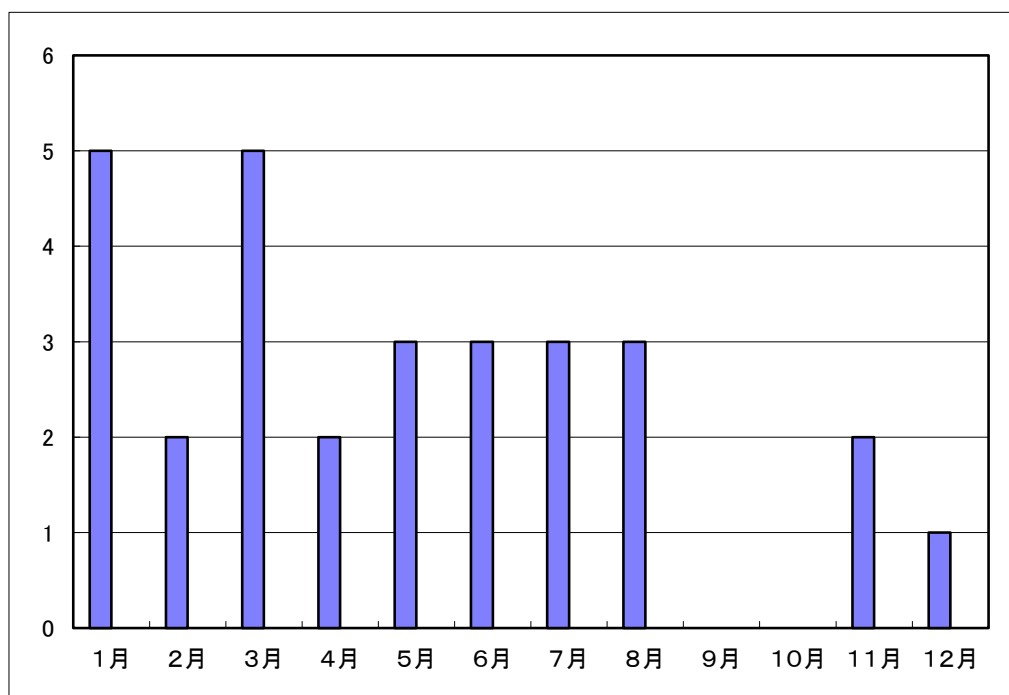
令和 7 年	29	15	0	2	12	26	11	28	0	2	4,502	157	0	28	146,756
--------	----	----	---	---	----	----	----	----	---	---	-------	-----	---	----	---------

令和 7 年月別火災発生状況調

区分 月別	火 災 種 別					焼 損 棟 数	り 災 世 帯	り 災 人 員	死傷者		焼 失 面 積			車 両 焼 損 台 数	火災損害額 (千円)	出 動 車 両	出 動 人 員
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他				死 者	負 傷 者	建 物		林 野				
											床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)					
合 計	29	15	0	2	12	26	11	28	0	2	4,502	157	0	28	146,756	199	811
1月	5	3	0	0	2	3	2	6	0	1	20	0	0	0	3,020	41	169
2月	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	14
3月	5	3	0	0	2	3	2	4	0	0	0	20	0	0	676	16	62
4月	2	2	0	0	0	2	1	1	0	1	568	0	0	3	9,113	33	128
5月	3	3	0	0	0	3	3	9	0	0	1,710	2	0	4	23,850	39	169
6月	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	853	10	40
7月	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	17	73
8月	3	1	0	0	2	1	1	3	0	0	0	0	0	0	9	7	24
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	2	1	0	0	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	12	14	58
12月	1	1	0	0	0	12	1	1	0	0	2,204	135	0	19	109,220	18	74

令和 7 年月別火災件数

月	件 数	割 合
1 月	5	17%
2 月	2	7%
3 月	5	17%
4 月	2	7%
5 月	3	10%
6 月	3	10%
7 月	3	10%
8 月	3	10%
9 月	0	
10 月	0	
11 月	2	7%
12 月	1	3%
合 計	29	100%

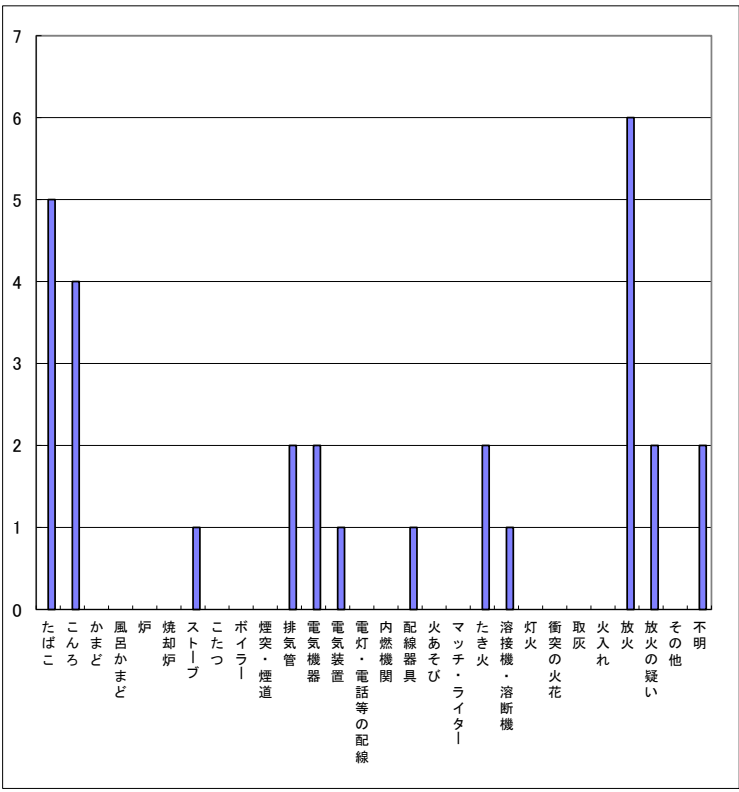


令和7年原因別火災発生状況調

原因別	区分	火災種別					焼死・負傷者					焼失面積			車両焼損台数	火災損失額 (千円)	出動車両 両	出動人員
		合計	建物	林野	車両	その他	焼損棟数	災世帯	災人員	死者	負傷者	床面積	表面積	林野面積				
		(㎡)	(㎡)	(a)														
合計		29	15	0	2	12	26	11	28	0	2	4,502	157	0	28	146,756	199	811
たばこ	こ	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	45
こんろ	ろ	4	4	0	0	0	4	3	8	0	1	6	0	0	0	26	35	151
かまど	ど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風呂かまど	ど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却炉	炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ストーブ	ブ	1	1	0	0	0	12	1	1	0	0	2,204	135	0	19	109,220	18	74
こたつ	つ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー	ー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
煙突・煙道	道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排気管	管	2	1	0	1	0	1	1	3	0	0	199	0	0	3	21,785	17	81
電気機器	器	2	1	0	1	0	1	1	5	0	0	0	0	0	1	88	17	64
電気装置	置	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
電灯・電話等の配線		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内燃機関	関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配線器具	具	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	10	1	4
火あそび	び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マッチ・ライター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たき火	火	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	20	0	0	666	16	60
溶接機・溶断機	機	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	10	35
灯火	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衝突の火花	花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取灰	灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火入れ	れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放火	火	6	2	0	0	4	2	1	2	0	0	0	0	0	0	6	16	71
放火の疑い	疑	2	1	0	0	1	1	1	1	0	1	20	0	0	0	2,932	13	58
その他の他	他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	明	2	2	0	0	0	2	2	6	0	0	2,073	0	0	5	12,023	40	158

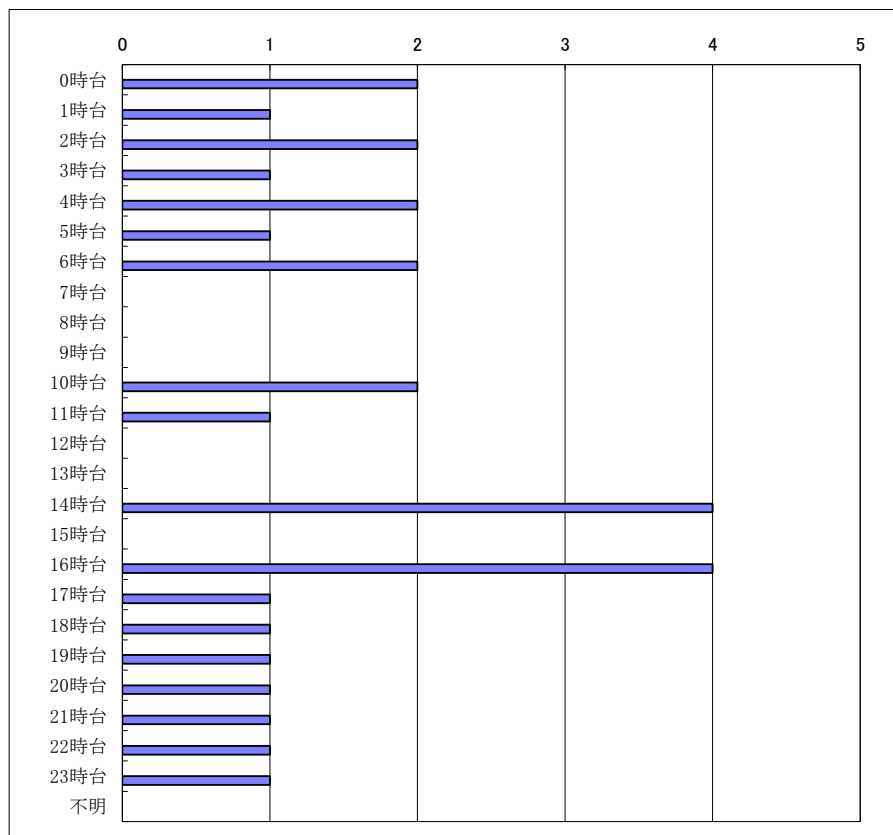
令和7年火災原因

原因名	件数	順位
たばこ	5	2
こんろ	4	3
かまど	0	13
風呂かまど	0	13
炉	0	13
焼却炉	0	13
ストーブ	1	9
こたつ	0	13
ボイラー	0	13
煙突・煙道	0	13
排気管	2	4
電気機器	2	4
電気装置	1	9
線	0	13
内燃機関	0	13
配線器具	1	9
火あそび	0	13
マッチ・ライター	0	13
たき火	2	4
溶接機・溶断機	1	9
灯火	0	13
衝突の火花	0	13
取灰	0	13
火入れ	0	13
放火	6	1
放火の疑い	2	4
その他の他	0	13
不明	2	4
合計	29	件



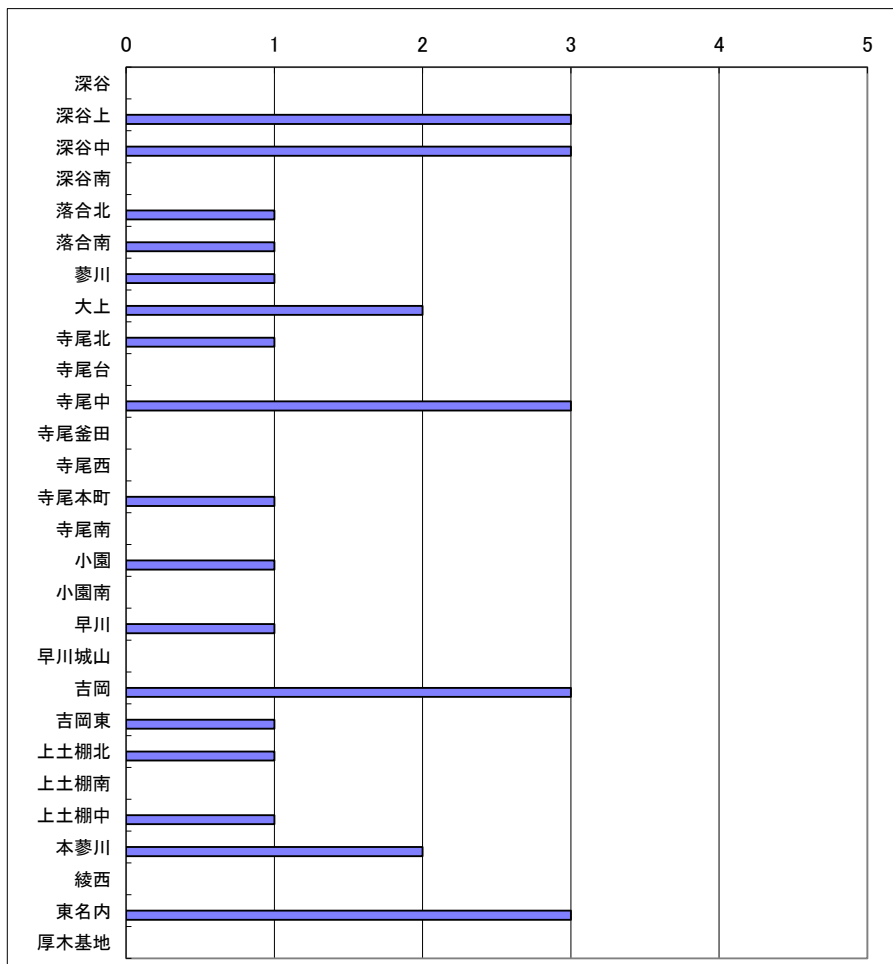
令和 7 年時間別火災件数

時 間	件 数	割 合
0 時 台	2	7%
1 時 台	1	3%
2 時 台	2	7%
3 時 台	1	3%
4 時 台	2	7%
5 時 台	1	3%
6 時 台	2	7%
7 時 台	0	0%
8 時 台	0	0%
9 時 台	0	0%
10 時 台	2	7%
11 時 台	1	3%
12 時 台	0	0%
13 時 台	0	0%
14 時 台	4	14%
15 時 台	0	0%
16 時 台	4	14%
17 時 台	1	3%
18 時 台	1	3%
19 時 台	1	3%
20 時 台	1	3%
21 時 台	1	3%
22 時 台	1	3%
23 時 台	1	3%
不明	0	0%
合 計	29	100%



令和 7 年地区別火災件数

地区名	件数	順位
深 谷	0	18
深 谷 上	3	1
深 谷 中	3	1
深 谷 南	0	18
落 合 北	1	8
落 合 南	1	8
蓼 川	1	8
大 上	2	6
寺 尾 北	1	8
寺 尾 台	0	18
寺 尾 中	3	1
寺 尾 釜 田	0	18
寺 尾 西	0	18
寺 尾 本 町	1	8
寺 尾 南	0	18
小 園	1	8
小 園 南	0	18
早 川	1	8
早 川 城 山	0	18
吉 岡	3	1
吉 岡 東	1	8
上 土 棚 北	1	8
上 土 棚 南	0	18
上 土 棚 中	1	8
本 蓼 川	2	6
綾 西	0	18
東 名 内	3	1
厚 木 基 地	0	18
合 計	29	件



災害統計 (救急関係)

令和 7 年救急統計

種 別	令和7年	令和6年	増減
出 動 件 数	5,272 件	5,151 件	121 件
搬 送 件 数	4,839 件	4,843 件	▲ 4 件
不 搬 送 件 数	433 件	308 件	125 件
搬 送 人 員	4,884 人	4,891 人	▲ 7 件
1 日 当 た り の 出 動 件 数	14.00 件	14.11 件	
1 日 当 た り の 搬 送 件 数	13.26 件	13.27 件	
1 日 当 た り の 搬 送 人 員	13.38 人	13.40 人	

令和7年中の救急出動件数は、過去最多の件数となりました。



▲ 印:減

区 分	計	事 故 種 別													
		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他			
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	医	資	そ
出動件数	5,272	14	0	0	317	67	28	825	21	35	3,631	283	0	0	51
搬送件数	4,839	2	0	0	300	67	28	778	13	26	3,343	281	0	0	1
不搬送件数	433	12	0	0	17	0	0	47	8	9	288	2	0	0	50
搬送人員	4,884	2	0	0	336	73	27	806	14	28	3,314	283	0	0	1

搬送人員内訳	計	事 故 種 別													
		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他			
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	医	資	そ
合 計	4,884	2	0	0	336	73	27	806	14	28	3,314	283	0	0	1
死 亡	61	0	0	0	1	0	0	3	0	4	53	0	0	0	0
重 症	228	0	0	0	5	2	0	11	0	2	174	34	0	0	0
中 等 症	2,616	1	0	0	121	41	12	397	7	18	1,798	220	0	0	1
軽 症	1,979	1	0	0	209	30	15	395	7	4	1,289	29	0	0	0

令和7年と過去10年間の救急出動事故種別集計

区分 年別	合計	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	運動競技	加害	自損行為	火災	水難	自然災害	その他	転院搬送	資器材搬送
平成27年	3,772	2,553	309	541	67	34	30	41	16	0	0	14	167	0
平成28年	4,090	2,716	348	635	73	36	35	48	7	0	0	24	168	0
平成29年	3,974	2,680	317	592	46	38	16	36	21	0	2	42	184	0
平成30年	4,232	2,865	320	639	70	36	22	34	20	1	1	25	199	0
令和元年	4,332	2,915	291	649	67	43	22	44	18	0	0	30	253	0
令和2年	3,809	2,526	276	581	49	21	21	34	9	0	0	20	272	0
令和3年	4,026	2,655	317	617	58	23	20	29	11	0	0	26	270	0
令和4年	4,916	3,369	315	765	57	35	10	50	12	0	0	43	260	0
令和5年	5,141	3,503	339	739	86	40	13	64	10	0	1	63	283	0
令和6年	5,151	3,486	322	811	88	40	22	36	11	1	0	67	267	0
平均	4,344	2,927	315	657	66	35	21	42	14	0	0	35	232	0

令和7年	5,272	3,631	317	825	67	28	21	35	14	0	0	51	283	0
------	-------	-------	-----	-----	----	----	----	----	----	---	---	----	-----	---

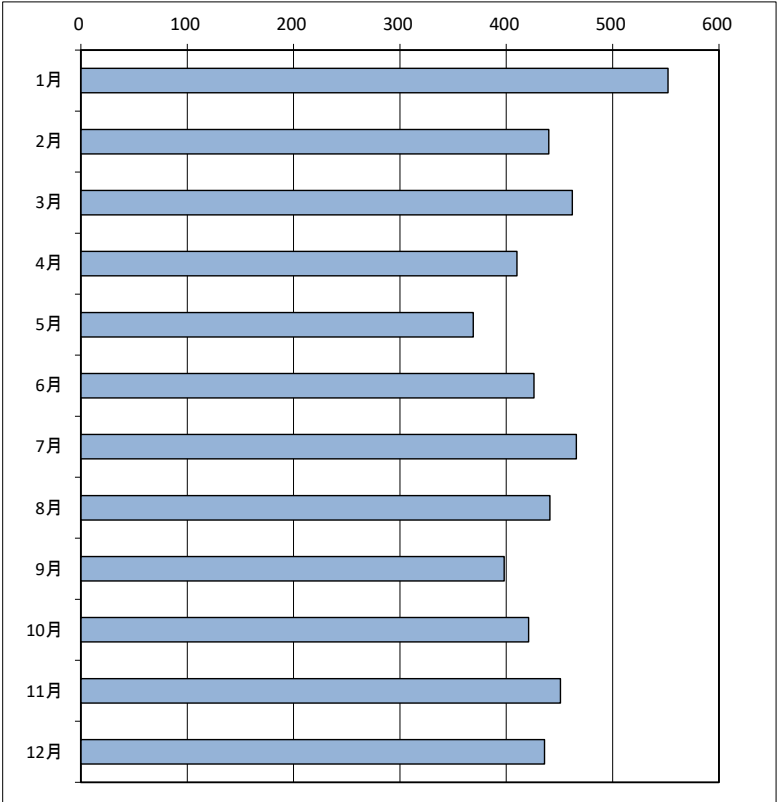
ドクターヘリ要請件数

区分 年別	合計	急病	交通事故	一般負傷	労働災害	運動競技	加害	自損行為	火災	水難	自然災害	その他	転院搬送	資器材搬送
平成14年	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成15年	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成16年	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成17年	6	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0
平成18年	4	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成19年	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
平成20年	10	4	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
平成21年	9	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0
平成22年	13	3	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
平成23年	6	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
平成24年	5	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
平成25年	9	3	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
平成26年	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
平成27年	7	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
平成28年	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
令和3年	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年	6	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
令和6年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0

令和7年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

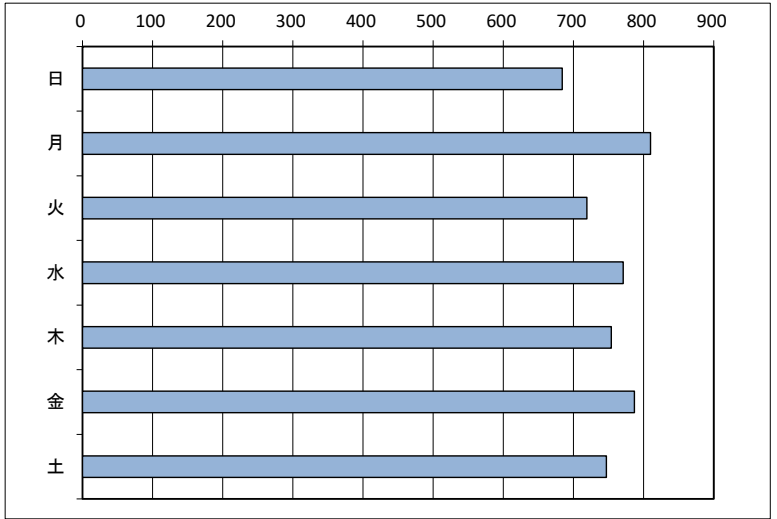
令和 7 年救急出動月別集計

月	件数	割合
1月	552	10.5%
2月	440	8.3%
3月	462	8.8%
4月	410	7.8%
5月	369	7.0%
6月	426	8.1%
7月	466	8.8%
8月	441	8.4%
9月	398	7.5%
10月	421	8.0%
11月	451	8.6%
12月	436	8.3%
総件数	5,272	100%



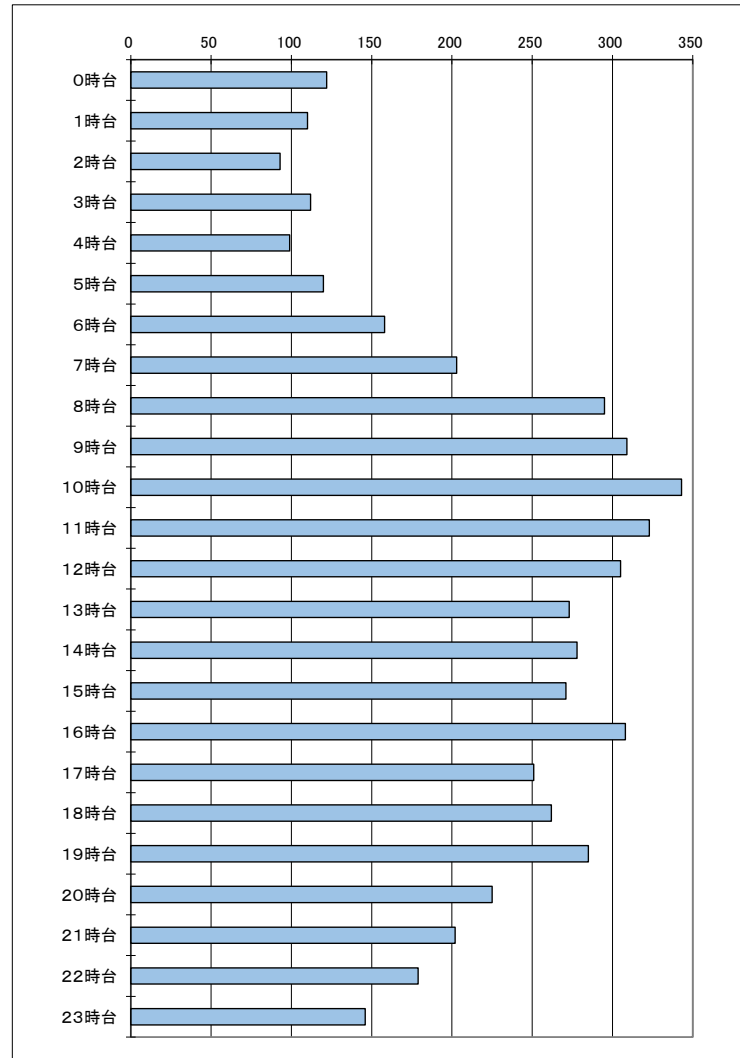
令和 7 年救急出動曜日別集計

曜日	件数	割合
日	684	13.0%
月	810	15.4%
火	719	13.6%
水	771	14.6%
木	754	14.9%
金	787	14.9%
土	747	14.2%
総件数	5,272	101%



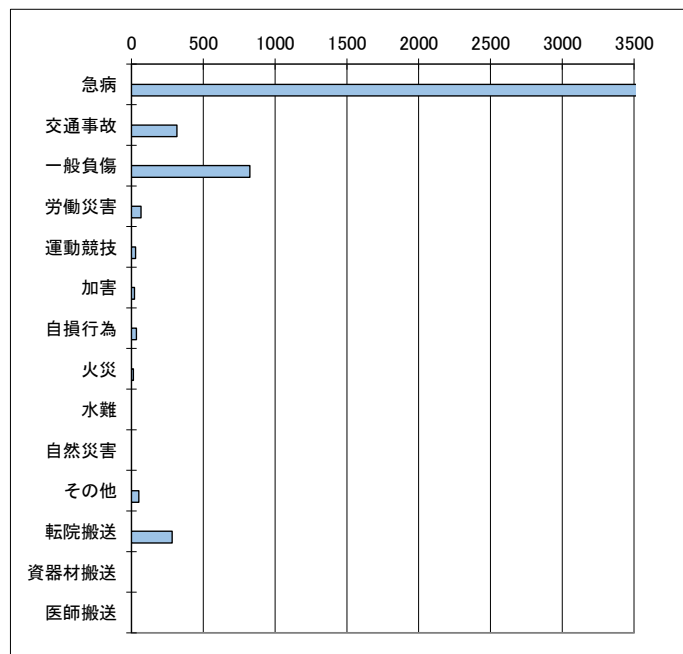
令和 7 年救急出動時間別集計

時間帯	件数	割合
0 時 台	122	2.3%
1 時 台	110	2.1%
2 時 台	93	1.8%
3 時 台	112	2.1%
4 時 台	99	1.9%
5 時 台	120	2.3%
6 時 台	158	3.0%
7 時 台	203	3.9%
8 時 台	295	5.6%
9 時 台	309	5.9%
1 0 時 台	343	6.5%
1 1 時 台	323	6.1%
1 2 時 台	305	5.8%
1 3 時 台	273	5.2%
1 4 時 台	278	5.3%
1 5 時 台	271	5.1%
1 6 時 台	308	5.8%
1 7 時 台	251	4.8%
1 8 時 台	262	5.0%
1 9 時 台	285	5.4%
2 0 時 台	225	4.3%
2 1 時 台	202	3.8%
2 2 時 台	179	3.4%
2 3 時 台	146	2.8%
総件数	5,272	100%



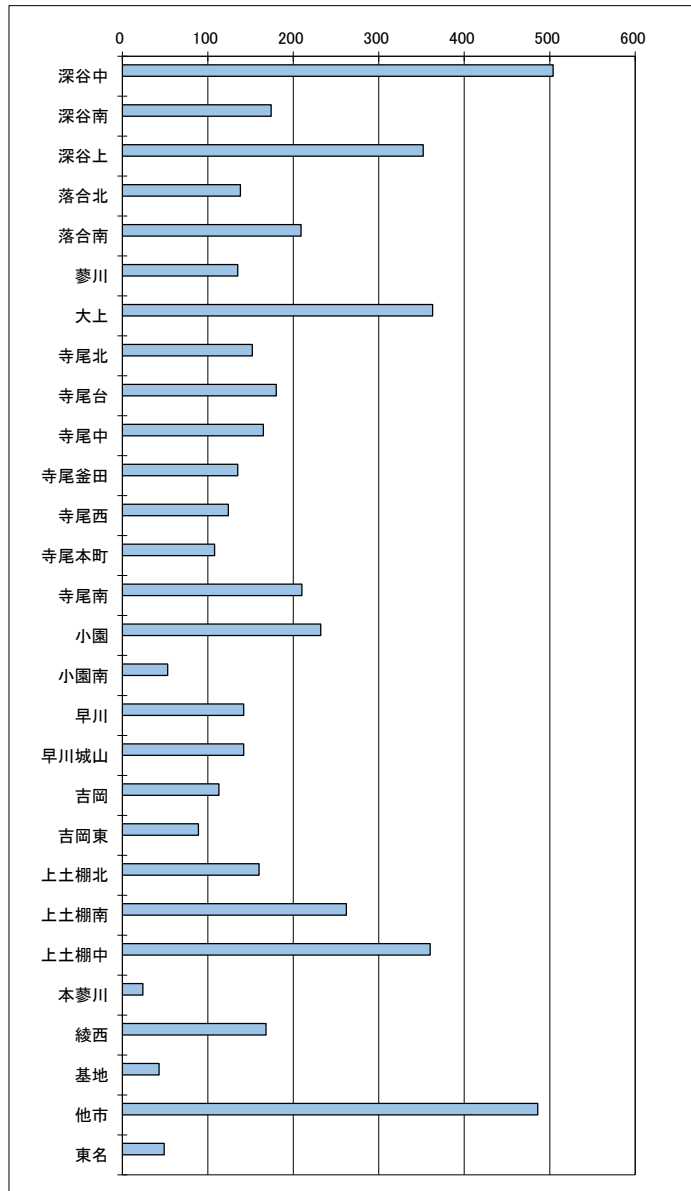
令和 7 年救急出動事故種別集計

事故種別	件数	割合
急病	3,631	68.9%
交通事故	317	6.0%
一般負傷	825	15.6%
労働災害	67	1.3%
運動競技	28	0.5%
加害	21	0.4%
自損行為	35	0.7%
火災	14	0.3%
水難	0	0.0%
自然災害	0	0.0%
その他	51	1.0%
転院搬送	283	5.4%
資器材搬送	0	0.0%
医師搬送	0	0.0%
総件数	5,272	100%



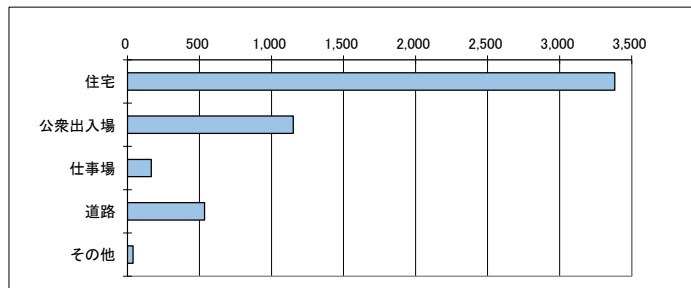
令和 7 年救急出動地域別集計

地域名	件数	割合
深 谷	0	0.0%
深 谷 中	504	9.6%
深 谷 南	174	3.3%
深 谷 上	352	6.7%
落 合 北	138	2.6%
落 合 南	209	4.0%
蓼 川	135	2.6%
大 上	363	6.9%
寺 尾 北	152	2.9%
寺 尾 台	180	3.4%
寺 尾 中	165	3.1%
寺尾釜田	135	2.6%
寺 尾 西	124	2.4%
寺尾本町	108	2.0%
寺 尾 南	210	4.0%
小 園	232	4.4%
小 園 南	53	1.0%
早 川	142	2.7%
早川城山	142	2.7%
吉 岡	113	2.1%
吉 岡 東	89	1.7%
上土棚北	160	3.0%
上土棚南	262	5.0%
上土棚中	360	6.8%
本 蓼 川	24	0.5%
綾 西	168	3.2%
基 地	43	0.8%
他 市	486	9.2%
東 名	49	0.9%
総件数	5,272	100%



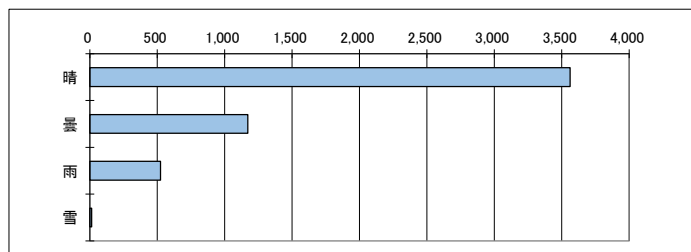
令和 7 年救急発生場所別集計

出動場所別	件数	割合
住 宅	3,383	64.2%
公衆出入場	1,151	21.8%
仕 事 場	165	3.1%
道 路	535	10.1%
そ の 他	38	0.7%
総件数	5,272	100%



令和 7 年救急出動天候別集計

天候	件数	割合
晴	3,562	67.6%
曇	1,172	22.2%
雨	524	9.9%
雪	14	0.3%
総件数	5,272	100%



救急救命士

救急救命士とは、救急救命士国家試験に合格した者で、救急現場や救急車内で医師に代わって医療行為を行います。また、この医療行為を特定行為と呼びます。

この特定行為は、医師による指示を受けないを行うことができません。また、特定行為の中には個別の認定を持たなければ行えないものもあり、病院研修などを通して認定を取得した救急救命士が、それぞれの行為を実施しています。

さらに、特定行為とは、心肺停止の傷病者に対して実施する器具を使用した気道確保・静脈路確保・アドレナリン（強心剤）のほか、生命の危険が及ぶ重篤な傷病者に対して行う輸液の投与、重度低血糖の傷病者に対するブドウ糖の投与など緊急性の高い処置となります。

消防本部では、複雑多様化する災害に対応するため、現在36名の職員が救急救命士の資格を有しており、救急車には必ず1名以上の救急救命士が搭乗しています。

【救急救命処置（特定行為）の種類】

- 気道確保 ・ ・ ・ 心肺停止または呼吸停止の傷病者に対し、口から特殊なチューブを挿入し、空気の通り道を確保する行為です。食道に挿入する器具は数種類あり、傷病者の状況により器具を選択します。
気管に挿入する処置には気管挿管があり、器具を使用し、直接声帯を見ながら行う直視下気管挿管と、ビデオ機能が付いた器具で口の中を見ながら行うビデオ喉頭鏡気管挿管の2種類があります。この処置は、気管挿管の認定を持つ救急救命士のみが行えます。
- 静脈路確保 ・ ・ ・ 心肺停止の傷病者や生命に危険のある状態の傷病者に対して、輸液（点滴）を行う行為です。
- 薬剤投与 ・ ・ ・ 心肺停止の傷病者に対して静脈路確保を行った後にアドレナリン（強心剤）を投与する行為と、低血糖状態の傷病者に対してブドウ糖を投与する行為です。
- 除 細 動 ・ ・ ・ 致死性の不整脈による心肺停止の傷病者に対し電気ショックを行う行為です。
（一般市民が行うAEDと同様です。）

【救急救命士が行った救急救命処置件数】

令和7年中

事故種別	処 置 人 数	気道確保			心 肺 停 止 前 輸 液	心 肺 停 止 後 輸 液	ブ ド ウ 糖 投 与	ア ド レ ナ リ ン 投 与	除 細 動
		気 管 挿 管	ビ デ オ 喉 頭 鏡 気 管 挿 管	L T					
急 病	63	0	18	33	21	49	7	56	11
一 般 負 傷	9	2	3	0	2	4	0	4	0
交 通 事 故	0	0	0	0	2	2	0	1	0
自 損 行 為	6	0	1	0	1	2	0	2	0
合 計	78	2	22	33	26	57	7	63	11

※LTは、食道に挿入するチューブの一種で気管挿管よりも簡便に挿入できる気道確保器具です。

東名高速道路災害事案件数

(単位：件)

種別 年	合計			救急・ 救急支援	火災	救助	その他
令和3年	31	上り	21	17	1	3	0
		下り	10	7	2	1	0
令和4年	33	上り	19	11	3	5	0
		下り	14	9	0	4	1
令和5年	34	上り	25	22	3	0	0
		下り	9	8	1	0	0
令和6年	33	上り	24	22	2	0	0
		下り	9	9	0	0	0
令和7年	47	上り	37	36	1	0	0
		下り	10	10	0	0	0
累計	178			151	13	13	1

※令和3年3月31日綾瀬スマートインターチェンジ開通

三市救急業務相互応援協定に基づく応援受援状況

(単位：件)

	三市 応援受	応援				受援			
		海老名	座間	綾瀬	合計	海老名	座間	綾瀬	合計
令和3年	海老名		280	297	577		172	192	364
	座間	172		95	267	280		74	354
	綾瀬	192	74		266	297	95		392
令和4年	海老名		500	463	963		210	314	524
	座間	210		118	328	500		101	601
	綾瀬	314	101		415	463	118		581
令和5年	海老名		488	503	991		262	348	610
	座間	262		119	381	488		117	605
	綾瀬	348	117		465	503	119		622
令和6年	海老名		592	513	1105		264	337	601
	座間	264		149	413	592		137	729
	綾瀬	337	137		474	513	149		662
令和7年	海老名		594	544	1138		283	351	634
	座間	283		113	396	594		133	727
	綾瀬	351	133		484	544	113		657

現場到着・病院到着平均時分（全国比較）

	出動件数 (件)	搬送件数 (件)	搬送人員 (人)	入電～現場到着 (分)		入電～病院到着 (分)	
				綾瀬市	全国	綾瀬市	全国
平成30年	4,232	3,973	4,009	7.3	8.7	35.1	39.5
令和元年	4,332	4,037	4,065	7.6	8.7	34.4	39.5
令和2年	3,809	3,534	3,558	8.2	8.9	35.5	40.6
令和3年	4,026	3,760	3,781	9.1	9.4	37.8	42.8
令和4年	4,916	4,516	4,555	9.6	10.3	40.0	47.2
令和5年	5,141	4,772	4,816	8.9	10.0	38.8	45.6
令和6年	5,151	4,843	4,891	8.8	9.8	39.1	44.6
令和7年	5,272	4,839	4,884	8.1	※	38.6	※

※総務省消防庁未発表

過去5年間の熱中症発生件数

	発生場所分類別								傷病程度別				合計
	住居	仕事場		教育機関	公衆出入場所		道路	その他	軽症	中等症	重症	死亡	
		工場等	農畜産		屋内	屋外							
令和3年	10	3	2	0	1	8	4	0	17	9	2	0	28
令和4年	18	11	0	2	3	9	9	1	32	20	1	0	53
令和5年	14	8	1	0	1	7	8	0	25	13	0	1	39
令和6年	16	16	0	6	9	4	17	7	38	36	1	0	75
令和7年	21	11	1	2	6	7	24	3	34	39	2	0	75

過去5年間の搬送先医療機関別搬送人員（所在市町村）

	綾瀬市内	海老名市	座間市	大和市	藤沢市	その他	合計
令和3年	616	1,058	280	631	790	406	3,781
令和4年	629	1,372	339	892	861	462	4,555
令和5年	602	1,661	428	960	822	343	4,816
令和6年	586	1,711	505	898	781	410	4,891
令和7年	673	1,645	435	737	915	479	4,884



傷病者を搬送した医療機関の所在する市町村ごとに搬送者数を調査しました。
海老名市内への搬送が多くなっております。

普及啓発

救命講習実施回数実績

(単位：回)

区分 年度	合計	上級	普通	普通 (小児)	普及員 コース	入門 コース
～平成29年度	555	22	490	26	14	3
平成30年度	41	2	32	5	2	0
令和元年度	38	3	30	5	0	0
令和2年度	25	1	17	7	0	0
令和3年度	26	0	21	5	0	0
令和4年度	49	6	33	10	0	0
令和5年度	49	4	35	10	0	0
令和6年度	43	4	30	9	0	0
令和7年度	51	4	38	9	0	0
累計	877	46	726	86	16	3

救命講習受講者数実績

(単位：人)

区分 年度	合計	上級	普通	普通 (小児)	普及員 コース	入門 コース
～平成29年度	10,478	309	9,532	403	162	72
平成30年度	585	25	452	81	27	0
令和元年度	599	28	493	78	0	0
令和2年度	209	8	152	49	0	0
令和3年度	265	0	210	55	0	0
令和4年度	578	69	415	94	0	0
令和5年度	604	35	486	83	0	0
令和6年度	511	33	392	86	0	0
令和7年度	630	56	473	101	0	0
累計	14,459	563	12,605	1,030	189	72

A E D設置市内公共施設一覧

No.	施設名	所在地	設置場所	使用可能時間	24時間
1	綾瀬市役所	早川550	1階総合受付横	24時間使用可能	○
2	綾瀬市役所	早川550	議会棟	平日8時30分から17時00分まで	
3	綾瀬市役所	早川550	6階教育総務課	平日8時30分から17時00分まで	
4	綾瀬市オーエンス文化会館	深谷中1-3-1	事務室内	9時00分から22時00分まで (毎週火曜日・第3水曜日・年末年始の休館日を除く)	
5	市民スポーツセンター	深谷上3-6-1	事務室内	9時00分から21時00分 (開館時間)	
6	市民スポーツセンター	深谷上3-6-1	貸出用	施設利用時のみ使用可能	
7	市民スポーツセンター	深谷上3-6-1	屋外管理棟(屋外)	24時間使用可能	○
8	市民スポーツセンター	深谷上3-6-1	テニスコートトイレ(屋外)	24時間使用可能	
9	蓼川スポーツ広場	蓼川3-1448	倉庫内	施設利用時のみ使用可能	
10	図書館	深谷中1-3-1	事務室内	月・木・金 9時00分から19時00分まで 火・水・土・日 9時00分から17時00分まで (第1・3火曜日・特別整理期間・年末年始の休館日を除く)	
11	保健福祉プラザ	深谷中4-7-10	事務室内	8時30分から17時00分 (開庁時間)	
12	保健福祉プラザ	深谷中4-7-10	入口(屋外)	24時間使用可能	○
13	綾瀬市リサイクルプラザ	吉岡1643-1	1階事務室	8時30分から17時00分 (開庁時間)	
14	寺尾いずみ会館	寺尾台3-6-25	事務室内	9時00分から22時00分まで (毎週火曜日・第3水曜日・年末年始の休館日を除く)	
15	南部ふれあい会館	上土棚南1-5-10	事務室内	9時00分から22時00分まで (毎週火曜日・第3水曜日・年末年始の休館日を除く)	
16	綾北福祉会館	寺尾中1-3-22	事務室内	8時30分から19時00分 (貸室の予約状況により22時00分まで延長あり)	
17	落合ふれあいの家	落合南1-3-33	事務室内	9時00分から17時00分	
18	高齢者福祉会館	深谷中1-3-1	管理室内	9時00分から16時00分	
19	大上会館	大上5-21-34	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
20	鶴島会館	深谷南4-21-7	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
21	綾南会館	上土棚中7-3-4	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
22	ながぐつ児童館	綾西2-11-14	事務室内	8時30分から17時00分(原則火曜日を除く)	
23	小園児童館	小園401-1	事務室内	8時30分から17時00分(原則火曜日を除く)	
24	寺尾児童館	寺尾北2-2-1	事務室内	8時30分から17時00分(原則火曜日を除く)	
25	綾西高齢者憩いの家	綾西2-11-13	玄関	10時00分から16時00分	
26	落合自治会館	落合南6-1-46	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
27	中村自治会館	深谷中5-23-35	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
28	上深谷自治会館	深谷上2-15-32	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
29	大上自治会館	大上5-9-41	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
30	寺尾綾北自治会館	寺尾本町2-7-3	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
31	小園自治会館	小園398-1	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
32	早川自治会館	早川2934-6	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
33	吉岡自治会館	吉岡2316-10	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
34	綾西自治会館	綾西2-11-14	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
35	上土棚自治会館	上土棚北4-7-47	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
36	寺尾北自治会館	寺尾北1-5-12	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
37	寺尾天台自治会館	寺尾台1-12-15	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
38	寺尾南自治会館	寺尾南2-3-16	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
39	中村地区センター	深谷中5-16-43	事務室	9時00分から22時00分まで (毎週火曜日・第3水曜日・年末年始の休館日を除く)	
40	早園地区センター (建替中)	早川2934	事務室	9時00分から22時00分まで (毎週火曜日・第3水曜日・年末年始の休館日を除く)	
41	吉岡地区センター (建替中)	吉岡2316	事務室	9時00分から22時00分まで (毎週火曜日・第3水曜日・年末年始の休館日を除く)	
42	綾南地区センター	上土棚中1-10-11	事務室	9時00分から22時00分まで (毎週火曜日・第3水曜日・年末年始の休館日を除く)	
43	綾南地区センター	上土棚中1-10-11	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
44	北の台コミュニティプラザ	蓼川2-1-12	入口 (屋外)	24時間使用可能	○
45	大上保育園	大上6-14-5	事務室	平日7時30分から19時00分 (開園時間) 土曜日7時30分から18時30分 (開園時間)	

A E D設置市内公共施設一覧

No.	施設名	所在地	設置場所	使用可能時間	24時間
46	綾南保育園	上土棚南1-4-17	事務室	平日7時30分から19時00分（開園時間） 土曜日7時30分から18時30分（開園時間）	
47	もみの木園	深谷上4-5-1	事務室	8時30分から17時00分	
48	総合教育支援センター	早川城山1-3-8	事務室	8時30分から17時00分	
49	綾瀬小学校	深谷中5-1-1	職員室内	8時25分から16時55分（開校時間）	
50	綾瀬小学校	深谷中5-1-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
51	綾瀬小学校 放課後児童クラブ	深谷中5-1-1	事務室	学校休校日 8時00分から19時00分 学校休校日以外 授業終了後から19時00分まで (※日曜・祝日は閉所)	
52	綾北小学校	寺尾本町3-10-1	職員玄関内	8時25分から16時55分（開校時間）	
53	綾北小学校	寺尾本町3-10-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
54	綾西小学校	綾西1-2-1	職員室内	8時25分から16時55分（開校時間）	
55	綾西小学校	綾西1-2-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
56	早園小学校	小園420	職員室内	8時25分から16時55分（開校時間）	
57	早園小学校	小園420	体育館	施設利用時のみ使用可能	
58	綾南小学校	上土棚中1-12-19	保健室内	8時25分から16時55分（開校時間）	
59	綾南小学校	上土棚中1-12-19	体育館	施設利用時のみ使用可能	
60	天台小学校	寺尾台1-3-1	職員室内	8時25分から16時55分（開校時間）	
61	天台小学校	寺尾台1-3-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
62	北の台小学校	大上9-14-1	職員室前廊下	8時25分から16時55分（開校時間）	
63	北の台小学校	大上9-14-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
64	落合小学校	落合北3-10-1	来客用玄関内	8時25分から16時55分（開校時間）	
65	落合小学校	落合北3-10-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
66	落合小学校 放課後児童クラブ	落合北3-10-1	事務室	学校休校日 8時00分から19時00分 学校休校日以外 授業終了後から19時00分まで (※日曜・祝日は閉所)	
67	土棚小学校	上土棚南6-1-1	来客用玄関内	8時25分から16時55分（開校時間）	
68	土棚小学校	上土棚南6-1-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
69	土棚小学校 放課後児童クラブ	上土棚南6-1-1	事務室	学校休校日 8時00分から19時00分 学校休校日以外 授業終了後から19時00分まで (※日曜・祝日は閉所)	
70	寺尾小学校	寺尾南1-3-1	職員室内	8時25分から16時55分（開校時間）	
71	寺尾小学校	寺尾南1-3-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
72	綾瀬中学校	深谷南2-3-1	職員室内	8時20分から16時50分（開校時間）	
73	綾瀬中学校	深谷南2-3-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
74	綾北中学校	深谷上4-4-1	職員室内	8時20分から16時50分（開校時間）	
75	綾北中学校	深谷上4-4-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
76	城山中学校	早川2230	職員室内	8時20分から16時50分（開校時間）	
77	城山中学校	早川2230	体育館	施設利用時のみ使用可能	
78	北の台中学校	蓼川1-2-1	職員室内	8時20分から16時50分（開校時間）	
79	北の台中学校	蓼川1-2-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
80	春日台中学校	吉岡393-1	事務室前（廊下）	8時20分から16時50分（開校時間）	
81	春日台中学校	吉岡393-1	体育館	施設利用時のみ使用可能	
82	ばらの里作業所	深谷南2-7-2	事務室内	8時30分から17時30分（開所時間） (※日・祭日休所)	
83	希望の家	寺尾南2-3-39	玄関	8時30分から17時30分（開所時間） (※日・祭日休所)	
84	深谷大上ふれあいの家	大上8-23-35	事務室	9時00分から17時00分まで	
85	綾瀬西デイサービスセンター	早川1485-1	事務室	8時30分から17時30分	
86	綾瀬市本蓼川墓園	深谷上8-2855-1	管理事務室	9時00分から16時30分	
87	綾瀬スポーツ公園	本蓼川345	レストハウス(屋外)	24時間使用可能	○
88	綾瀬スポーツ公園	本蓼川345	北側東屋（屋外）	24時間使用可能	
89	綾瀬スポーツ公園	本蓼川345	南側野球場 バックスクリーン裏（屋外）	24時間使用可能	
90	綾瀬スポーツ公園	本蓼川345	事務室	9時00分から21時00分 (12月30日から1月2日の施設休館日を除く)	

A E D設置市内公共施設一覧

No.	施設名	所在地	設置場所	使用可能時間	24時間
91	綾瀬スポーツ公園	本蓼川345	硬式野球場本部室	9時00分から21時00分 ※施設利用時のみ使用可能 (12月30日から1月2日の施設休館日を除く)	
92	綾瀬スポーツ公園	本蓼川345	貸出用	施設利用時のみ使用可能	
93	綾南公園	落合南9-339	管理棟（屋外）	24時間使用可能	○
94	神埼遺跡資料館	吉岡3425-5	事務室	9時00分から17時00分 (毎週月曜日・年末年始の休館日を除く)	
95	城山公園	早川城山3-4-1	管理棟（屋外）	24時間使用可能	○
96	ドリームプレイウッズ	深谷中7-3071	事務室	16時00分から18時00分 ※開森日のみ使用可能 ※時間は季節によって異なります。 (開森日は不定期)	
97	綾瀬市消防本部・消防署	深谷中1-4-30	1階正面入口	24時間使用可能	○
98	綾瀬市消防本部・消防署	深谷中1-4-30	2階事務室(貸出用)	スポーツ大会やイベント開催時等に貸し出します	
99	綾瀬市消防本部・消防署	深谷中1-4-30	消防車車載(指揮車)	24時間使用可能(消防職員が使用します)	
100	綾瀬市消防本部・消防署	深谷中1-4-30	消防車車載(救助工作車)	24時間使用可能(消防職員が使用します)	
101	綾瀬市消防本部・消防署	深谷中1-4-30	消防車車載(ポンプ車)	24時間使用可能(消防職員が使用します)	
102	綾瀬市消防本部・消防署	深谷中1-4-30	消防車車載(タンク車)	24時間使用可能(消防職員が使用します)	
103	綾瀬市消防本部・消防署	深谷中1-4-30	消防車車載(化学車)	24時間使用可能(消防職員が使用します)	
104	綾瀬市消防署北分署	寺尾本町2-7-15	1階正面入口	24時間使用可能	○
105	綾瀬市消防署北分署	寺尾本町2-7-15	消防車車載(北ポンプ車)	24時間使用可能(消防職員が使用します)	
106	綾瀬市消防署南分署	上土棚北3-2-15	1階正面入口	24時間使用可能	○
107	綾瀬市消防署南分署	上土棚北3-2-15	消防車車載(南ポンプ車)	24時間使用可能(消防職員が使用します)	
108	浄水管理センター	深谷南5-13-1	事務室	24時間使用可能	○
109	学校給食センター	小園698-8	事務所	8時00分から16時30分	
110	光綾公園	深谷上4-5234	管理棟（屋外）	24時間使用可能	○
111	中央分団車庫	深谷中5-16-51	車庫前（屋外）	24時間使用可能	○
112	綾北分団車庫	大上9-13-38	車庫前（屋外）	24時間使用可能	○
113	寺尾分団車庫	寺尾本町1-11-7	車庫脇（屋外）	24時間使用可能	○
114	綾西分団車庫	吉岡887-1	車庫前（屋外）	24時間使用可能	○
115	綾南分団車庫	上土棚南1-4-19	車庫前（屋外）	24時間使用可能	○
116	風車公園	大上2-555-9	管理棟（屋外）	24時間使用可能	○
117	蟹ヶ谷公園	吉岡905-10	管理棟（屋外）	24時間使用可能	○



～公共施設～

- ・AED設置台数：117台
- ・AED設置施設：77施設
- ・24時間対応：36施設

令和8年4月1日現在

A E D 設置市内民間施設一覧

No.	施設名	住所	設置場所	24時間
1	共ヶ岡診療所	大上3-20-23	診察室	
2	メイコー	大上5-14-15	守衛室	○
3	綾瀬ゆめっこ保育園	大上4-2-25	玄関	
4	ココファンさがみ野	大上4-15-23	事務所内	○
5	横浜銀行綾瀬支店	大上2-1-3	ATMコーナー	
6	トビー工業綾瀬製造所	大上2-3-1	正門守衛所	○
7	近藤歯科医院	寺尾中4-13-1	待合室	
8	サンライズ・ヴィラ綾瀬	寺尾中3-1-11	3階ホール	○
9	カーブスPAT綾瀬店	寺尾中1-4-70 PAT綾瀬2F	受付カウンター	
10	綾瀬ゆたか幼稚園	寺尾本町3-12-26	事務室	
11	技研綾瀬工場	小園1069-1	工場内	
12	アサヒコ神奈川工場	小園1090	事務所	
13	トヨタモビリティ神奈川綾瀬店	小園1031-4	ショールーム	
14	神奈川日産自動車綾瀬小園店	小園1020-1	ショールーム	
15	湘央学園（2台）	小園1424-4	1号館入口等	
16	富士精工	小園969-1	事務所2階	
17	愛の家グループホーム綾瀬小園	小園320-2	1階事務所	○
18	相鉄バス綾瀬営業所	小園847	1階ロビー	
19	菅原医院	小園南1-11-13	受付事務室	○
20	キャリテック綾瀬DC	小園698-1	玄関ホール	
21	BREXA PCT神奈川教習所	早川2771-9	執務室	
22	生蘭高等専修学校	小園1520	事務室	
23	綾瀬幼稚園	寺尾西2-9-50	玄関	
24	綾瀬高校（2台）	寺尾南1-4-1	事務室窓口等	
25	老人ホーム杜の郷（3台）	寺尾南1-5-31	1階ロビー等	○
26	原クリニック	寺尾釜田1-1-8	新館1階	
27	おとぎ保育園	早川3067-5	玄関	
28	県央資源センター	早川3085	事務所	
29	ケアハウス長寿	早川3109-1	1階ロビー	
30	早川工業団地協同組合	早川2647	組合事務所	
31	あらかわ歯科医院	早川城山1-3-22	診療室	
32	S S A テニスガーデン綾瀬	早川2014-1	2階フロント	
33	綾瀬西高校（4台）	早川1485-1	職員玄関前等	
34	道志会ヴィラ城山	早川城山2-13-5	1階事務所	○
35	道志会老人ホーム	早川城山2-11-3	1階エレベーター前	
36	東ソー東京研究センター	早川2743-1	警備室	○
37	市川医院	寺尾南1-6-17	診療室	
38	トーエル湘南営業所	深谷上8-13-3	2階事務所	
39	鴻池運輸神奈川綾瀬営業所	深谷上8-27-1	1階事務所	
40	サントリープロダクツ神奈川綾瀬工場	深谷上8-27-1	守衛室	○
41	パーカーS・N工業	深谷上8-20-27	玄関	
42	光製作所 第二工場	深谷上8-23-13	事務所棟	
43	かなしんオフセット	深谷上8-2-29	1階受付	
44	ロイヤルレジデンス綾瀬	深谷上7-18-7	1階食堂	○
45	湘南マツダ綾瀬店	深谷上1-4-7	ショールーム	
46	綾瀬ライフスタイルクリニック	深谷中1-16-35	処置室	
47	かながわ信用金庫綾瀬支店	深谷上1-1-10	1階ロビー	
48	綾瀬アスコン	小園806	事務所2階	
49	ガステック	深谷中8-8-6	1階玄関	
50	さがみ野ホーム（2台）	深谷中7-1-9	入所棟1階ケアステーション等	

No.	施設名	住所	設置場所	24時間
51	つばみ保育園	深谷中5-20-48	玄関	
52	長龍寺	深谷中4-3-1	本堂	
53	ヨウコーキャッスル綾瀬	深谷南3-17-1	正面玄関	
54	紀医院	深谷中6-19-18	診察室	
55	ハンディホームセンター綾瀬店	深谷中2-6-37	サービスカウンター	
56	小田急藤沢テニスガーデン	深谷南7-2-1	1階フロント	
57	小田急藤沢ゴルフクラブ（2台）	深谷南7-2-1	クラブハウスフロント等	
58	エムケーチーズ（3台）	落合北1-1-1	2階事務所等	○
59	きくち総合診療クリニック	深谷中7-18-2 ライズモール綾瀬1階	2階受付	
60	柴垣歯科医院	吉岡2366-1	正面玄関	
61	吉岡保育園	吉岡1980	玄関	
62	日本アクセス神奈川支店綾瀬TPLセンター	吉岡東2-6-4	1階受付カウンター	
63	綾西幼稚園	吉岡1526	職員室	
64	介護老人保健施設メイプル	吉岡2361-7	4階ステーション	
65	綾瀬ホーム（5台）	吉岡2337	事務室等	
66	横浜森永乳業	吉岡東3-6-1	事務棟1階	○
67	貴志園（2台）	吉岡2381-1	本棟職員室等	○
68	綾瀬浄水場	吉岡887	本館正面玄関	
69	相互発篠綾瀬工場	吉岡東2-3-24	2階社長室	
70	デッキ	吉岡東1-16-35	2階階段室	
71	キャノン綾瀬事業所（4台）	吉岡2596	警備室等	○
72	佐川急便綾瀬研修センター	吉岡816-2	1階受付	
73	綾瀬市シルバー人材センター	落合北7-1-20	1階事務所	
74	綾瀬いずみ保育園	上土棚北4-11-41	本館ホール	
75	サニーライフ綾瀬	上土棚中2-13-28	受付	
76	サニーライフ綾瀬式番館	上土棚中2-13-22	1階事務所	
77	泉正園	上土棚南1-11-20	特養医務室	
78	島田外科・内科	上土棚中6-14-26	診察室	
79	鈴木技研	深谷中8-2-23	事務所玄関	
80	セーアン	吉岡東5-9-32	玄関内側	
81	長谷川加工所	深谷中8-3-11	1階事務所入口	
82	とうめい綾瀬腎クリニック	深谷中1-8-20	1階透析室内	
83	川上産業	深谷中8-2-2	打ち合わせ室	
84	三興段ボール	早川12647-1	事務所1階総務部	
85	唐池学園	吉岡2377	ロビー	○
86	厚木土木事務所東部センター	寺尾本町1-11-3	警備員室	○
87	綾瀬地区交番	早川511-1	出入口付近	○
88	寺尾交番	寺尾本町3-11-29	出入口付近	○
89	深谷交番	深谷中2-23-12	出入口付近	○
90	上土棚交番	上土棚北3-2-12	出入口付近	○
91	ベストキッズ綾瀬保育園	寺尾西1-1-1カーサふじみ野113	裏口玄関	
92	共同カイテック綾瀬プラント	大上1-2-17	1階事務所入口横	
93	マスタックエフ	上土棚北3-11-1	工場内シャッター横	
94	地域活動支援センターファミール	深谷上1-13-5	事務所入口	
95	綾瀬市商工会	深谷中5-17-1	1階エントランス	
96	啓愛社	寺尾釜田1-4-8	2階事務所	
97	早川城山集会所	早川城山4-5-1	玄関	
98	横浜製作所	大上1-31-19	事務所内	
99	ロピア綾瀬店	深谷南1-10-22	レジ横	



～民間施設～
 ・AED設置台数：99台
 ・AED設置施設：99施設
 ・24時間対応：21施設

令和8年4月1日現在

火災予防

防火対象物現況

(令和8年4月1日現在)

防火対象物区分			消防用設備等が必要な 防火対象物数（棟）
1項	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	2
	ロ	公会堂・集会場	35
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	
	ニ	カラオケボックス等	
3項	イ	料理店等	
	ロ	飲食店	34
4項		百貨店・マーケット等	84
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	2
	ロ	共同住宅・下宿・寄宿舍等	934
6項	イ	病院・診療所等	19
	ロ	自力避難困難者入所施設（重度）	43
	ハ	自力避難困難者入所施設（軽度）	47
	ニ	幼稚園・特別支援学校	15
7項		各種学校	65
8項		図書館・博物館・美術館	1
9項	イ	熱気浴場・蒸気浴場	
	ロ	イ以外の公衆浴場	
10項		車両の停車場	
11項		神社・寺院・教会等	15
12項	イ	工場・作業場	727
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	15
	ロ	飛行機等の格納庫	
14項		倉庫	232
15項		上記各項に該当しない事業場	174
16項	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	96
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	47
17項		重要文化財等	
合 計			2,591

火災予防査察実施状況

(令和7年度)

防火対象物区分			査察対象物数 (数地)	実施件数			合計
				署 ※1 (定期)	本部 ※1 (定期)	本部 ※2 (特別)	
1項	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1		1		1
	ロ	公会堂・集会場	32				
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場・ダンスホール	4		3		3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗					
	ニ	カラオケボックス等					
3項	イ	料理店等					
	ロ	飲食店	33	2			2
4項		百貨店・マーケット等	88	4	9		13
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	2		2		2
	ロ	共同住宅・下宿・寄宿舎等	172				
6項	イ	病院・診療所等	22	2	1		3
	ロ	自力避難困難者入所施設（重度）	41	20			20
	ハ	自力避難困難者入所施設（軽度）	39	21			21
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9	8	1		9
7項		各種学校	21	5			5
8項		図書館・博物館・美術館	1				
9項	イ	熱気浴場・蒸気浴場				1	1
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10項		車両の停車場					
11項		神社・寺院・教会等	12	4			4
12項	イ	工場・作業場	621	115	5	7	127
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ					
13項	イ	自動車車庫・駐車場	3	2			2
	ロ	飛行機等の格納庫					
14項		倉庫	169	7		2	9
15項		上記各項に該当しない事業場	93	3	3		6
16項	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	93	38	9		47
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	49	6			6
17項		重要文化財等					
合 計			1,505	237	34	10	281

※1 定期査察とは、消防長または、消防署長が前年度に定めた年度計画により実施した査察をいう。

※2 特別査察とは、消防長等が特に必要と認めたときに、査察対象物を指定して実施した査察をいう。

※3 査察対象物数とは、綾瀬市火災予防査察規程別表で定める防火対象物の第1種査察対象物から第4種査察対象物及び令別表第1（5）項ロのうち、法第17条第1項又は第2項の消防用設備等の設置を要するものをいう。

火災予防条例に基づく届出状況調

(令和7年度)

月 別 区 分	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防火対象物使用開始届	92	5	2	6	4	13	12	9	8	12	12	2	7
炉・ボイラー・乾燥設備等	15			1	1	1	2	2	1	2	1	4	
発電・変電・蓄電池設備等	35	2		2	4	2	3	8	4	3	2	1	4
道 路 工 事 届	358	31	28	28	32	28	26	36	35	24	15	44	31
火 煙 発 生 届	206	7	5	12	10	9	15	9	16	47	35	30	11
煙 火 打 上 届	16	1			3	1	1	9		1			
少 量 危 険 物	31	1	5		1	1	3	5		5	8	1	1
指 定 可 燃 物	23				1			16		2	1	1	2
露 店 等 の 開 設 届	59	2	2	2	21	12	6	5	2	1	2	1	3
合 計	835	49	42	51	77	67	68	99	66	97	76	84	59

消防用設備等設置届出状況調

(令和7年度)

月 別 区 分	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 火 設 備	60	3	6	4	2	4	7	9	3	5	4	6	7
警 報 設 備	105	8	4	8	6	3	7	18	9	12	7	6	17
避 難 設 備	76	2	1	4	2	2	3	7	15	22	4	4	10
消 防 用 水	1	1											
消火活動上必要な施設	2	1						1					
必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等													
合 計	244	15	11	16	10	9	17	35	27	39	15	16	34

防火管理者選任状況

(令和8年4月1日現在)

防 火 対 象 物 区 分			法第8条該当数		防火管理者選任済み数	
			甲種	乙種	甲種	乙種
1項	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1		1	
	ロ	公会堂・集会場	9	23	9	22
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	3		3	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス等				
3項	イ	料理店等				
	ロ	飲食店	9	20	9	20
4項		百貨店・マーケット等	38	31	35	29
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	1		1	
	ロ	共同住宅・下宿・寄宿舎等	64		47	
6項	イ	病院・診療所等	5	1	4	1
	ロ	自力避難困難者入所施設（重度）	39		36	
	ハ	自力避難困難者入所施設（軽度）	18	1	18	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9		9	
7項		各種学校	19		19	
8項		図書館・博物館・美術館		1		1
9項	イ	熱気浴場・蒸気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		車両の停車場				
11項		神社・寺院・教会等	2	2	2	1
12項	イ	工場・作業場	45		43	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13項	イ	自動車車庫・駐車場				
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫	8		5	
15項		上記各項に該当しない事業場	19	2	19	2
16項	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	36	4	25	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	3		2	
17項		重要文化財等				
合 計			328	85	287	79

※消防法第8条とは、一定規模以上ある防火対象物の管理権限者に対して、政令で定める資格を有する者から、防火管理者を定め防火管理上必要な業務を行わせることを義務付けています。

◇甲種防火管理者とは、すべての防火対象物に選任できる防火管理者です。

◇乙種防火管理者とは、比較的小規模な防火対象物に限られる防火管理者です。

用途別消防同意件数

(令和7年度)

工 事 区 分 用 途 別		合	新	増	改	移	用	模	修	そ
		計	築	築	築	転	途	様	繕	他
1項	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場								
	ロ	公会堂・集会場								
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗								
	ニ	カラオケボックス等								
3項	イ	料理店等								
	ロ	飲食店								
4項		百貨店・マーケット等	1	1						
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等								
	ロ	共同住宅・下宿・寄宿舎等	8	8						
6項	イ	病院・診療所等								
	ロ	自力避難困難者入所施設（重度）	1	1						
	ハ	自力避難困難者入所施設（軽度）	7	4	3					
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3		3					
7項		各種学校	1	1						
8項		図書館・博物館・美術館								
9項	イ	熱気浴場・蒸気浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場								
10項		車両の停車場								
11項		神社・寺院・教会等								
12項	イ	工場・作業場	7	6	1					
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13項	イ	自動車車庫・駐車場								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14項		倉庫	6	6						
15項		上記各項に該当しない事業場	3	1	1		1			
16項	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	1				1			
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物								
17項		重要文化財等								
18項		50m以上のアーケード								
併 用 住 宅										
専 用 住 宅		286	285	1						
そ の 他										
合 計		324	313	9			2			

危険物施設状況調

(令和7年度)

製造所等の別			区分	合 計	施 設 数								処 理 件 数				仮 使用	廃 止等
					第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在	設 置		変 更				
												許 可	完 成	許 可	完 成			
合 計					201				200			1	4	2	11	12	6	7
製 造 所																		1
貯蔵所	屋 内			53				52			1							2
	移 動 タ ン ク			48				48				2	2	4	4			2
	屋 内 タ ン ク			3				3										
	屋 外 タ ン ク			10				10										
	地 下 タ ン ク			24				24				1		1	1			1
	簡 易 タ ン ク			1				1										
	屋 外			9				9										1
取扱所	給油	営 業 用	14				14											
		自 家 用	12				12											
	販売	第 1 種																
		第 2 種	1				1											
	一 般			26				26				1		6	7	6		

危険物関係諸届状況調

(令和7年度)

製造所等の別		区 分	合 計	譲 引	渡 渡	種 類 数 量 変 更	保 安 監 督 者 選 解 任	予 防 規 程 認 可	資 料 提 出 届	管 理 引 渡
合 計			122	4	13	7	16	1	81	
製 造 所			1			1				
貯蔵所	屋 内		21		1	2	5		13	
	移 動 タ ン ク		26	4	12	2			8	
	屋 内 タ ン ク									
	屋 外 タ ン ク		9						9	
	地 下 タ ン ク		8			1	1		6	
	簡 易 タ ン ク									
	屋 外		1			1				
取扱所	給油	営 業 用	17				2	1	14	
		自 家 用	9				4		5	
	販売	第 1 種								
		第 2 種								
	一 般		30				4		26	

火災予防査察実施状況（危険物施設）

（令和 7 年度）

製 造 所 等 区 分		査 察 対 象 物 数	実 施 件 数		合 計
			定 期	特 別	
製 造 所		1	1		1
貯 蔵 所	屋 内	53	22		22
	移 動 タ ン ク	48	42		42
	屋 内 タ ン ク	3			0
	屋 外 タ ン ク	10	4		
	地 下 タ ン ク	25	10		10
	簡 易 タ ン ク	1	1		
	屋 外	10	1		1
取 扱 所	給油	営 業 用	14	13	13
		自 家 用	12	8	8
	販売	第 1 種			
		第 2 種	1		0
	一 般		26	11	11
そ の 他					
合 計		204	113	0	113

- ※ 1 定期査察とは、消防長または、消防署長が前年度に定めた年度計画により実施した査察をいう。
- ※ 2 特別査察とは、消防長等が特に必要と認めたときに、査察対象物を指定して実施した査察をいう。
- ※ 3 査察対象物数とは、綾瀬市火災予防査察規程別表で定める第 1 種査察対象物から第 3 種査察対象物までの危険物施設をいう。

各クラブ結成状況

(令和8年4月1日現在)

幼年消防クラブ結成状況

番号	ク	ラ	ブ	名	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
1	綾	瀬	幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	昭 和 62 年 11 月 26 日	51	
2	春 日	幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	昭 和 62 年 11 月 26 日	87		
3	綾	西 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	昭 和 62 年 11 月 26 日	50		
4	綾	南 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	昭 和 63 年 6 月 1 日	65		
5	綾	瀬 中 央 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	昭 和 63 年 6 月 1 日	33		
6	綾	瀬 ゆ た か 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 元 年 7 月 1 日	31		
7	綾	瀬 す ぎ の 子 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 元 年 7 月 1 日	13		
8	綾	瀬 こ ば と 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 18 年 4 月 12 日	54		
9	ド	レーパー記念幼稚園幼年消防クラブ	平 成 23 年 11 月 7 日	17		
10	保 育 園	幼 年 消 防 ク ラ ブ	昭 和 63 年 6 月 1 日	228		
(1)	綾	瀬 市 立 綾 南 保 育 園	昭 和 63 年 6 月 1 日	29		
(2)	唐 池	学 園 吉 岡 保 育 園	〃	15		
(3)	綾	瀬 市 立 大 上 保 育 園	〃	25		
(4)	お と ぎ	保 育 園	〃	29		
(5)	唐 池	学 園 つ ぼ み 保 育 園	〃	23		
(6)	深 谷	保 育 園	〃	15		
(7)	生 蘭	学 園 さ くら チ ャ イ ル ド セ ン タ ー	平 成 21 年 6 月 5 日	14		
(8)	綾	瀬 い ず み 保 育 園	平 成 25 年 5 月 28 日	25		
(9)	綾	瀬 ゆ め つ こ 保 育 園	平 成 29 年 6 月 9 日	14		
(10)	ピ ッ ピ	こ と り 保 育 園	平 成 31 年 4 月 10 日	24		
(11)	生 蘭	学 園 か え で チ ャ イ ル ド セ ン タ ー	令 和 2 年 7 月 3 日	15		
11	綾	瀬 市 立 も み の 木 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	平 成 20 年 7 月 1 日	27		
幼 年 消 防 ク ラ ブ 員 合 計					656	

女性防火クラブ結成状況

番号	ク	ラ	ブ	名	結	成	年	月	日	ク	ラ	ブ	員	数					
1	落	合	女	性	防	火	ク	ラ	ブ	昭	和	62	年	11	月	26	日		15
2	中	村	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					15	
3	上	深	谷	女	性	防	火	ク	ラ	ブ			〃					11	
4	蓼	川	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					9	
5	大	上	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					13	
6	寺	尾	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					11	
7	小	園	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					休会	
8	早	川	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					9	
9	吉	岡	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					9	
10	綾	西	女	性	防	火	ク	ラ	ブ				〃					10	
11	上	土	棚	女	性	防	火	ク	ラ	ブ			〃					14	
女	性	防	火	ク	ラ	ブ	員	合	計									116	

少年消防クラブ結成状況

番号	ク	ラ	ブ	名	結	成	年	月	日	ク	ラ	ブ	員	数					
1	綾	瀬	市	少	年	消	防	ク	ラ	ブ	令	和	3	年	4	月	17	日	20

防火協力団体

(人数、事業所数は令和8年4月1日現在)
(写真は、令和7年度中の活動記録)

1 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは昭和63年に発足し、現在市内の幼稚園・保育園等が入会し、656名の年長児が活動しています。

主な活動内容

- ・市民防火・防災の日（毎月13日）及び火災予防運動期間中に法被通園
- ・花火教室を行い花火の正しい遊び方を学びます
- ・防火教室を行い火災予防の知識を学びます



2 女性防火クラブ

身近な場所で発生している建物火災から大切な生命や財産を守るため、常日ごろから家庭で火を使う機会が多い女性の方々を「家庭防火の推進者」として育成し、防火思想の普及啓発や防火意識の向上を図ることが重要と考え、昭和62年に各自治会を単位として11の女性防火クラブを結成しました。

主な活動内容

- ・市民防火・防災の日（毎月13日）の広報
- ・夜回りや自主防災訓練への参加及び防災リーダーとなり、災害時の避難所運営の協力
- ・普通救命講習や防火講習会に参加し、有事の際に備える
- ・消防音頭の普及啓発



3 少年消防クラブ

少年消防クラブは令和3年に発足し、児童時期に防火・防災に関する知識技術を習得することで、万が一に備えています。市内在住、または、在学の小学校4年生から6年生を対象とし、現在20名が活動しています。

主な活動内容

- ・毎月1回防火や防災に関する訓練
- ・他市少年消防クラブとの合同訓練
- ・火災予防期間中における防火啓発活動



4 綾瀬防火協会

市内の事業所において、火災予防思想の普及や徹底を図り防火管理の管理に努め、災害防止に努めると共に会員相互の親睦を図ることを目的とした団体です。昭和62年に創設され、137事業所が加盟しています。

主な活動内容

- ・綾瀬防火協会通常総会
- ・年4回の実務研修（普通救命講習、防火安全対策）の実施
- ・初期消火競技大会



消 防 の あ ゆ み

昭和20年	4月	町制を施行 人 口 10,370 人 世帯数 1,521 世帯
昭和22年	7月	消防団条例を制定し、警防団を消防団に改組
昭和27年	3月	消防団表彰規程制定
昭和37年	2月	消防審議会設置条例制定
昭和37年	3月	火災予防条例制定
昭和39年	3月	防災会議条例制定 災害対策本部条例制定
同	5月	米海軍厚木基地拡張のため、第5分団（本蓼川）廃止
同	6月	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例制定
同	12月	役場内に119番（火災報知専用電話）設置
昭和41年	3月	消防団の設置等に関する条例制定 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例制定 消防団員の組織等に関する規則制定
同	7月	火災原因調査規程制定
同	10月	消防償慰金条例制定 消防団員等公務災害補償条例制定
昭和42年	2月	小型動力ポンプを購入し、第4分団（蓼川）へ配置
同	3月	消防ポンプ自動車1台購入し、消防団本部に配置
同	4月	消防団の編成替えにより5分団に統合改革 消防用超短波無線電話（基地局1基、移動2基）設置
同	8月	役場庶務課内に防災係を置き、消防事務を処理
昭和43年	6月	管理課防災係の事務所を福祉会館に移転
同	8月	第1回綾瀬町消防水泳大会開催
同	12月	日産自動車より指令車の寄贈を受け、防災係へ配置
昭和45年	1月	消防ポンプ自動車5台を購入し、各分団に配置
同	4月	機構改革により防災消防課を設置 ☆ 組 織 課長 以下9名 ☆ 設 備 消防ポンプ自動車 1台 指令車 1台 ☆ 所 在 地 綾瀬町深谷3,446番地 事務所を深谷3,440番地に移転
同	6月	県衛生部より救急車の寄贈を受け、救急業務を開始
昭和47年	3月	消防本部設置条例制定
同	4月	綾瀬町消防本部を設置
同	5月	町有線放送協会より作業車の寄贈
同	9月	有線放送廃止に伴い、その施設を町有線放送協会から寄贈を受け、非常広報装置（放送

		塔 18 ヶ所) 完成
	同 10月	綾瀬消和会発足 (歴代正副団長、消防長経験者で構成)
昭和48年	1月	化学消防ポンプ自動車を購入し、消防本部に配置
	同 3月	消防署設置条例制定
	同 4月	綾瀬町消防署を設置
		☆ 組 織 署長以下 28 名
		☆ 設 備 消防ポンプ自動車 1 台
		化学消防ポンプ自動車 1 台
		小型動力ポンプ 1 台
		救急車 1 台
		☆ 所 在 地 綾瀬町深谷 3,440 番地
		消防署 3 部制勤務に移行
	同 7月	指令車を購入 (更新) し、消防本部に配置
	同 8月	(財) 日本船舶振興会より救急車の寄贈を受け、消防署に配置
	同 9月	救急車を購入 (更新) し、消防署に配置
	同 12月	消防庁舎を旧役場庁舎 (深谷 3,337 番地) へ移転
昭和49年	3月	水槽付消防ポンプ自動車を購入 (更新) し、消防署に配置
	同 8月	査察車 2 台を購入し、消防本部に配置
	同 9月	小型動力ポンプ付水槽車を購入し、消防署に配置
昭和50年	5月	団員を 165 名 (前 204 名) に削減
昭和52年	3月	日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
	同 4月	消防団編成替えにより、綾北分団を綾北分団 (蓼川及び大上地域) と寺尾分団 (寺尾地域) に分割し、5 分団制から 6 分団制に移行
	同 12月	消防ポンプ自動車を購入 (更新) し、綾北分団に配置
		消防本部庁舎新築工事開始
昭和53年	7月	消防本部庁舎完成
		所在地 深谷 3,850 番地 2
		構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
		面 積 2,329.064 m ²
		日本消防協会より救急車の寄贈 (更新) を受け、10 月に消防署に配置
	同 11月	市制を施行
		人 口 59,305 人 世帯数 17,547 世帯
		(男 30,906 人 女 29,489 人)
	同 12月	消防ポンプ自動車を購入 (更新) し、寺尾分団に配置
		査察車を購入 (更新) し、消防本部に配置
昭和54年	3月	火災予防運動の一環として、市内防火パレードを実施
	同 7月	指令車を購入 (更新) し、消防本部に配置
	同 10月	機構改革により、消防本部に危険物係を設置
	同 12月	消防ポンプ自動車を購入 (更新) し、早園分団に配置
昭和55年	3月	消防ポンプ自動車 2 台を購入 (更新) し、綾西分団及び綾南分団に配置

		救助工作車（いすゞK-SCR320 改）を購入し、消防署に配置
		資機材搬送車を購入し、消防本部に配置
同	4 月	機構改革により、消防本部に防災係を設置
同	6 月	査察車を購入（更新）し、消防本部に配置
同	1 1 月	指揮車を購入し、消防署に配置
同	1 2 月	査察車を購入（更新）し、消防本部に配置
		消防ポンプ自動車を購入（更新）し、中央分団に配置
昭和 5 6 年	7 月	機構改革により、消防署に通信指令係を設置
		救急車を購入（更新）し、消防署に配置
昭和 5 7 年	1 0 月	消防署 2 部制に移行、機構改革により指令第 1 係、指令第 2 係を設置し、警備第 3 係を廃止
同	1 2 月	はしご付消防ポンプ自動車 24m 級を購入し、消防署に配置
昭和 5 9 年	2 月	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置
同	8 月	日本消防協会より救急車の寄贈（更新）を受け、消防署に配置
昭和 6 0 年	1 月	普通消防ポンプ自動車を購入（更新）し、消防署に配置
同	3 月	春の火災予防運動の一環として防火風上げ大会実施
同	4 月	機構改革により消防本部の危険物係を廃止し、査察係を設置
同	6 月	査察車を購入し、消防署に配置
昭和 6 1 年	1 月	化学消防ポンプ車を購入（更新）し、消防署に配置
同	3 月	春の火災予防運動の一環として防火風上げ大会を実施
同	6 月	指令車を購入（更新）し、消防本部に配置
		資機材搬送車を購入（更新）し、消防本部に配置
昭和 6 2 年	4 月	消防本部庁舎車庫及び倉庫増築 構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て 面 積 延べ 319.5 m ²
同	5 月	外郭三団体が統合され、綾瀬防火協会を設立
同	6 月	消防広報車及び資機材搬送車を購入（更新）し、消防本部に配置
同	7 月	防災車を購入し、消防本部に配置
同	9 月	日本消防協会より救急車の寄贈（更新）を受け、消防署に配置
同	1 1 月	幼年期の火災予防教育と家庭からの出火防止対策のため、「綾瀬市少年婦人防火委員会」を設置 ☆ 幼年消防クラブ結成 ☆ 婦人防火クラブ結成 幼年消防・婦人防火クラブ結成記念大会（文化会館大ホール）を開催
昭和 6 3 年	4 月	綾瀬市防災行政用無線局を開局
平成 元年	2 月	寺尾分団車庫兼防災倉庫完成 所在地 寺尾本町一丁目 11 番 7 号
同	1 1 月	日本防火協会より広報車の寄贈を受け、消防本部に配置
平成 2 年	3 月	早園分団車庫兼防災倉庫完成 所在地 早川 2, 934 番地

		消防ポンプ自動車を購入（北分署用）
同	7月	作業車を購入し、消防署に配置（北分署用）
同	8月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈（更新）を受け、消防署に配置
同	10月	消防署北分署を開設 機構改革により消防署に係として北分署を設置
		所在地 寺尾本町二丁目7番15号
		構造 鉄筋コンクリート造2階建
		敷地 1,722.32 m ²
		建築面積 549.07 m ²
		延床面積 681.17 m ²
		配置職員 12名
		配置車両 消防ポンプ自動車 1台 作業車 1台
同	11月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、綾西分団に配置
平成	3年 3月	消防緊急情報システムを設置
		救助工作車を購入（更新）し、本署に配置
		消防本部敷地内に耐熱耐煙訓練施設完成
		構造 鉄筋コンクリート造平家建
		建築面積 82.90 m ²
		延床面積 77.00 m ²
		綾南分団車庫兼防災倉庫完成
		所在地 上土棚1,500番地
同	10月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、綾南分団に配置
同	12月	指揮車を購入（更新）し、本署に配置
平成	4年 3月	中央分団車庫兼防災倉庫完成
		所在地 深谷3,351番地
同	7月	日本消防協会より広報車の寄贈（更新）を受け、消防本部に配置
同	8月	広報車を購入（更新）し、消防本部に配置
同	11月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、中央分団に配置
平成	5年 1月	機構改革により消防署警備係を廃止し、消防係及び救助救急係を設置
同	3月	綾北分団車庫兼防災倉庫完成
		所在地 深谷6,137番地4
		更新普通消防ポンプ車を日本消防協会経由でペルーへ寄贈
同	4月	機構改革により消防署北分署を廃止し、北分署第1係・北分署第2係を設置、救急業務を開始、救急車は、本署予備車を暫定使用
同	12月	小型動力ポンプ6台を購入（更新）し、各分団に配置
平成	6年 1月	救急車を購入（更新）、小園 栗原 正明氏より寄贈された防振ベッドを装備し、北分署へ配置
同	4月	「毎月13日」を「市民防火の日」と制定
同	7月	資機材搬送車を購入（更新）し、本署に配置
平成	7年 1月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、本署に配置
同	3月	綾西分団車庫兼防災倉庫完成

		所在地	吉岡 887 番地 1
平成 8 年	3 月	はしご付消防ポンプ自動車 30m級を購入（更新）し、本署に配置 高規格救急車を購入（更新）し、本署に配置	
同	4 月	機構改革により消防署救助救急係を救助係に改組し、南分署第 1 係、南分署第 2 係を設置	
同	7 月	消防署南分署を開設	
		所在地	上土棚北三丁目 2 番 15 号
		構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建
		敷地面積	2,439.76 m ²
		建築面積	634.10 m ²
		延床面積	813.46 m ²
		配置職員	22 名
		配置車両	消防ポンプ自動車 1 台（本署予備車暫定利用） 高規格救急車 1 台（本署から配置換え） 作業車 1 台（本部作業車を暫定使用）
同	1 1 月	機構改革により消防本部に課制を導入し、消防総務課及び火災予防課を設置	
		消防総務課	- 総務係（旧庶務係） - 警防係 - 災害対策係（旧防災係）
		火災予防課	- 審査係（旧予防係） - 検査指導係（旧査察係）
同	1 2 月	消防ポンプ自動車を購入し、南分署に配置	
平成 9 年	1 月	指令車を購入（更新）し、消防総務課に配置	
平成 1 0 年	1 月	防災車を購入（更新）し、消防総務課に配置	
同	2 月	作業車を購入し、南分署に配置	
平成 1 1 年	1 月	化学消防ポンプ自動車を購入（更新）し、本署に配置	
平成 1 2 年	2 月	水槽付き消防ポンプ車を購入（更新）し、本署に配置	
同	3 月	高規格救急車を購入（更新）し、北分署に配置	
同	9 月	資機材搬送車を購入（更新）し、本部に配置	
平成 1 3 年	1 1 月	指揮車を購入（更新）し、本署に配置	
平成 1 4 年	2 月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、北分署に配置	
同	3 月	日本消防協会より広報車の寄贈（更新）を受け、消防本部に配置	
同	1 1 月	広報車を購入（更新）し、消防本部及び資機材搬送車購入（更新）し、北分署に配置	
平成 1 5 年	3 月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、綾北分団に配置 消防緊急情報システム更新完成 防災事務市長部局へ所管換え	
同	1 1 月	消防署三部制勤務に移行	
平成 1 6 年	2 月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、寺尾分団に配置	
同	1 2 月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、早園分団に配置	
平成 1 7 年	2 月	救助工作車を購入（更新）し、本署に配置	

同	4月	機構改革により火災予防課を予防課に名称変更
同	12月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、綾西分団に配置
平成18年	2月	資機材搬送車を購入（更新）し、本署に配置
		消防ポンプ自動車を購入（更新）し、本署に配置
同	12月	日本損害保険協会より小型動力ポンプ付軽消防自動車の寄贈を受け、翌年1月消防署に配置
平成19年	2月	高規格救急車を購入（更新）し、北分署に配置
同	3月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、綾南分団に配置
同	4月	職員1名を神奈川県消防学校教官に派遣
平成20年	2月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、中央分団に配置
平成21年	3月	高規格救急車を購入（更新）し、南分署に配置
		資機材搬送車を購入（更新）し、南分署に配置
平成22年	2月	広報車を購入（新規）し、本署に配置
同	12月	財団法人日本消防協会より多機能消防自動車の寄贈を受け、翌年1月消防署に配置
平成23年	2月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、南分署に配置
同	12月	海老名市、座間市及び綾瀬市消防通信指令事務協議会発足
平成24年	2月	水槽付き消防ポンプ自動車を購入（更新）し、本署に配置
同	3月	水槽付き消防ポンプ自動車更新に伴い、東日本大震災で被災した気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部に消防ポンプ自動車を無償譲渡
平成25年	2月	高規格救急車を購入（更新）し、北分署に配置
		高規格救急車更新に伴い、広島県東広島市へ高規格救急車無償譲渡
平成27年	2月	高規格救急車を購入（更新）し、南分署に配置
同	3月	海老名市、座間市及び綾瀬市救急業務相互応援協定締結
同	4月	海老名市・座間市・綾瀬市消防指令センター開設
		所在地 海老名市柏ヶ谷1047番地3
		構造 鉄筋コンクリート 地上3階建て 耐火建築物
		敷地面積 562.27㎡
		建築面積 285.97㎡
		延床面積 732.53㎡
		配置職員 23名（うち綾瀬市職員5名）
平成28年	11月	小型動力ポンプ2台を購入（更新）し、中央分団及び寺尾分団に配置
同	4月	条例定数を127名に改正
		機構改革により情報指令担当第1担当、情報指令担当第2担当及び情報指令担当第3担当を廃止、海老名市・座間市・綾瀬市消防指令センター派遣職員を消防総務課付けに配置及び管理担当を消防署に設置
同	11月	小型動力ポンプ2台を購入（更新）し、早園分団及び綾西分団に配置
平成30年	2月	第四次深谷地区住居表示整備事業の実施に伴い、住居表示を変更
		所在地 深谷中1丁目2番1号
同	3月	化学消防ポンプ自動車を購入（更新）し、本署に配置
同	9月	指令車を購入（更新）し、本署に配置

同	10月	小型動力ポンプ2台を購入（更新）し、綾北分団及び綾南分団に配置
平成31年	3月	高規格救急車を購入（更新）し、本署に配置 高規格救急車更新に伴い、湘中央生命科学技術専門学校へ高規格救急車無償譲渡
令和元年	6月	指揮車を購入（更新）し、本署に配置
令和2年	3月	新・綾瀬市消防庁舎（消防本部・消防署）運用開始 所在地 綾瀬市深谷中1丁目4番30号 構造 消防庁舎：鉄筋コンクリート 地上3階建 訓練塔：鉄筋コンクリート 地上2階建 敷地面積 3,472.67㎡ 建築面積 消防庁舎：1,302.14㎡ 訓練塔：120.60㎡ 延床面積 消防庁舎：3,595.58㎡ 訓練塔：238.80㎡ 高規格救急車を購入（更新）し、北分署に配置
令和3年	2月	消防ポンプ自動車（日野 2KG-XZU640M・CAFS搭載、小型水槽付）を購入（更新）し、北分署に配置
同	3月	自動心臓マッサージシステム「LUCAS3」を導入し、救急車へそれぞれ配備 新消防庁舎運用開始1周年を記念してPR動画を作成し、公開（YouTube） 綾瀬スマートインターチェンジ開通（出動区分に東名高速道路内を追加）
同	4月	機構改革により、予防課審査担当及び検査指導担当を廃止し、予防課予防担当を設置 綾瀬市少年消防クラブを発足 消防職員定数条例改正（127名→133名）
同	10月	文部科学省「令和2年度専修学校における先端技術利活用実証研修」プロジェクトに湘中央生命科学技術専門学校と参加し、VR動画撮影
令和4年	2月	高規格救急車を購入（更新）し、南分署に配置 作業車を購入（更新）し、本署に配置
同	4月	職員1名を神奈川県消防学校教官に派遣 新入団員推進PR動画完成を作成し、公開（YouTube）
令和5年	1月	綾瀬市消防本部発足50周年記念 令和5年綾瀬市消防出初式及び記念イベント開催 綾瀬市消防本部【公式】Instagram開設
同	2月	消防署北分署及び南分署の仮眠室を完全個室化し、女性専用施設を整備
同	3月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、綾北分団に配置 作業車を購入（更新）し、北分署に配置 消防ポンプ自動車を購入（更新）し、本署に配置
同	9月	無人航空機（ドローン）（MATRICE 300 RTK）を購入し、本署へ配備
令和6年	2月	消防ポンプ自動車を購入（更新）し、早園分団に配置 先端屈折式はしご車を購入（更新）し、本署に配置
令和7年	1月	前消防長 岡田 良春氏 消防本部担当部長併任市長室長 就任 消防ポンプ自動車を購入（更新）し、寺尾分団に配置
同	3月	救助工作車Ⅱ型を購入（更新）し、本署に配置

令和 8 年	3 月	県央東部救急業務相互応援協定締結（大和市、海老名市、座間市、綾瀬市） 大和市、海老名市、座間市、綾瀬市の 4 市で県央東部消防指令センター一部運用を開始 消防ポンプ自動車を購入（更新）し、綾西分団に配置
同	4 月	消防職員定数条例改正（1 3 3 名→1 4 3 名） 消防署に警備課（警備第 1 課、警備第 2 課、警備第 3 課）を設置 県央東部消防指令センター開署 I P 無線機を導入
同	8 月	資機材搬送車（6 台）を購入し、各分団に配置

※ 令和 8 年 8 月現在の内容を記載

綾瀬市消防年報 令和 7 年版

発行日 令和 8 年 8 月

発 行 綾瀬市消防本部

編 集 消防総務課

〒252-1107

神奈川県綾瀬市深谷中 1 丁目 4 番 3 0 号

電話 0467-76-0119

FAX 0467-77-9200

MAIL wm.762112@city.ayase.kanagawa.jp